とっても簡単！

フレッツフォン VP2000 操作ガイド

※画面はすべてハメコミ合成です。

フレッツフォン VP2000の

本商品のマニュアルは、「取扱説明書」、「設定ガイド」、「操作ガイド」の3冊に分かれています。ここでは各マニュアルの読みかたについて説明します。

●各マニュアルの読みかた

本商品のマニュアルは、下記のように構成されています。
最初に「取扱説明書」をお読みのうえ、「設定ガイド」をご覧になりながら本商品の初期設定を完了させてください。インターネットを利用したり、テレビ電話をかけたり、受けたりする手順は、「操作ガイド」をご覧ください。各機能の操作方法を簡潔に記載しています。

 取扱説明書	本商品をご利用になる前に必ずお読みください。 初期設定や本商品で利用できる機能の詳しい内容について記載しています。
 設定ガイド	本商品を使用する際には初期設定が必要です。 「設定ガイド」をご覧になりながら、初期設定を進めてください。
 操作ガイド	「操作ガイド」では、本商品で利用できる機能の操作方法を記載しています。 本商品で電話をかけたり、受けたりするときや、インターネットの情報検索、メールの送受信をする際の操作が簡潔に説明されています。 各機能の詳しい説明については、「取扱説明書」をお読みください。

マニュアル構成

●この操作ガイドの読みかた

この操作ガイドで使っているマークとその意味、表記の決まりについて説明します。

マーク	説明
	本商品の各種設定作業や、日常お使いになるうえで危険なこと、ご注意いただきたいことをまとめています。
	本商品をより便利に使うための操作上のヒントをまとめています。
参照	本文の説明と合わせてお読みいただきたい内容がある場合は、このマークで示しています。参照先がこの操作ガイドの中にある場合はページ番号を、他のマニュアルの場合は具体的な冊子名を示したうえで、必要に応じてページ番号や見出しを付記しています。
MEMO	知っておくと便利な情報をまとめています。
[　　] **[　　]**	本商品の画面に表示されている説明文や、ボタン上に表示された文字などは、[　　] で囲んで示します。操作上、タッチや選択する必要がある部分は **[　　]** で示しています。 <例> 表示が [ON] になります。 <例> **[設定]** にタッチ

※この操作ガイドに掲載している内容（画面や各種マーク、イラスト、ホームページやメールのアドレス等）は、2008年9月現在のものであり、変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

目次

第4章 インターネットを使ってみましょう

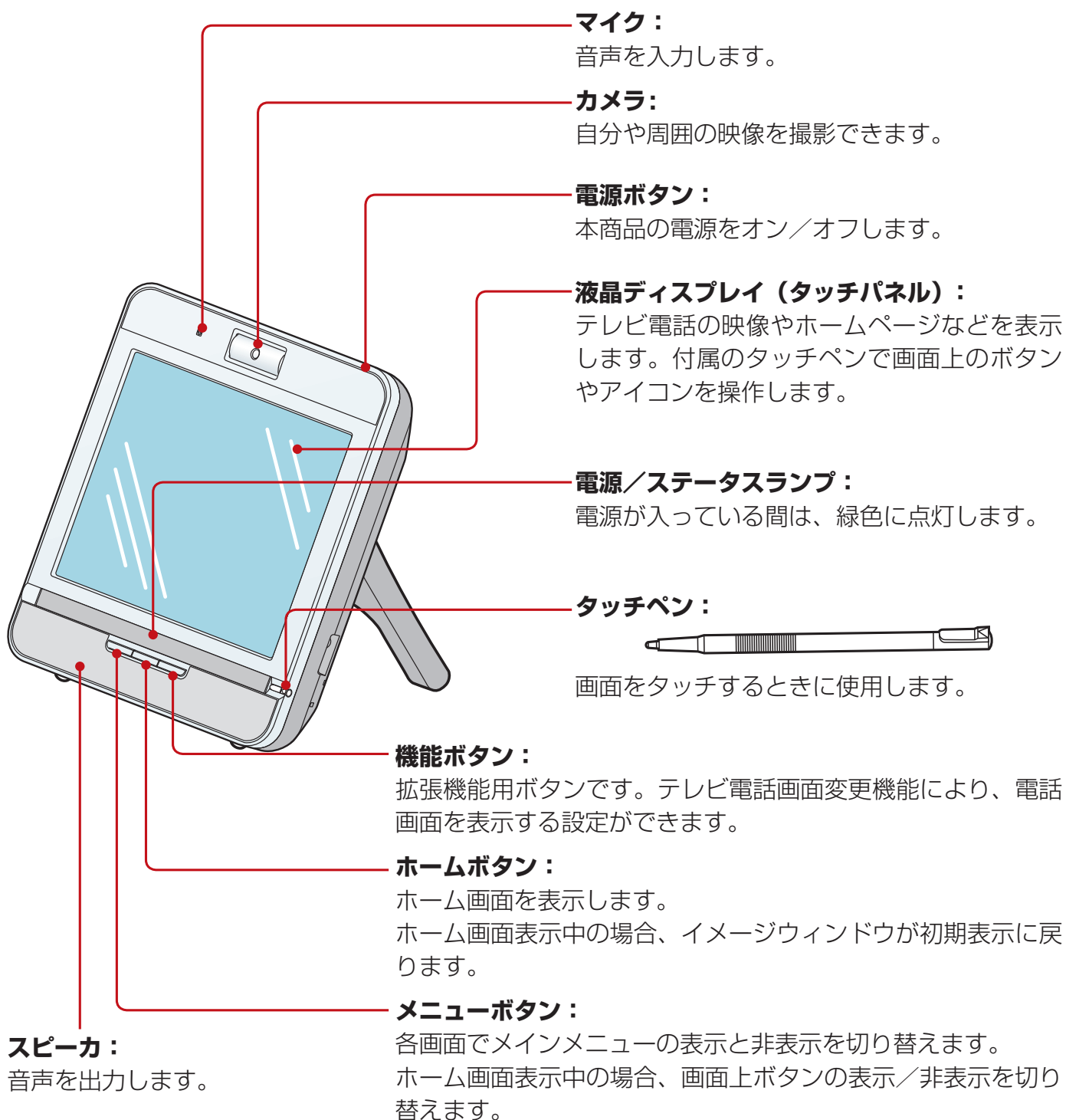
第5章 メールを使ってみましょう

第6章 キーボードを使ってみましょう

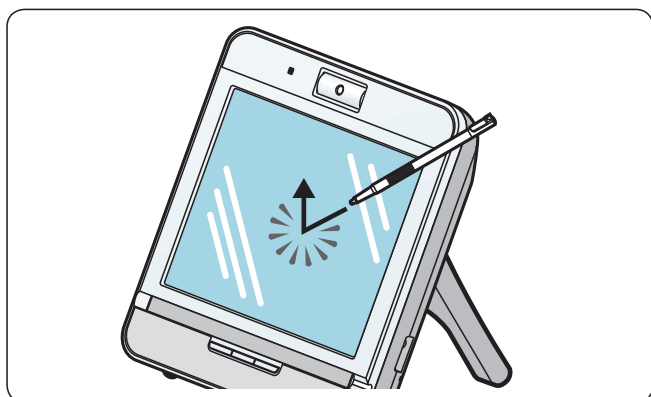
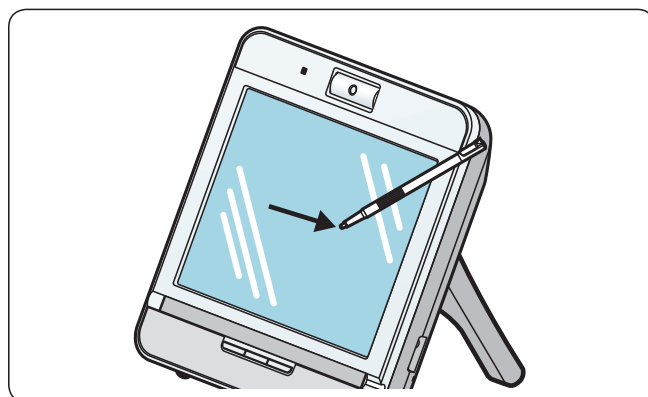
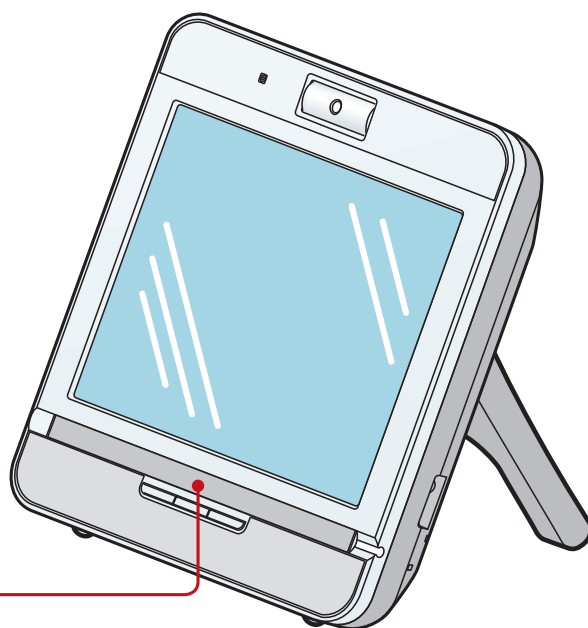
第7章 フレッツフォン VP2000をさらに活用してみましょう

第8章 困ったときには

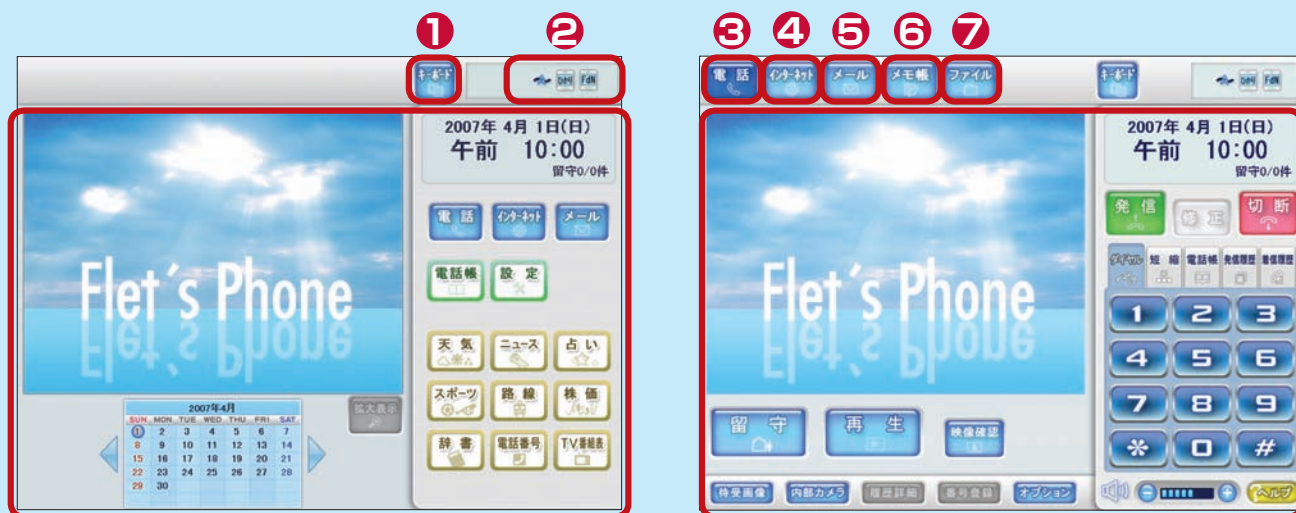
フレッツフォンVP2000本体各部の名称

本商品には、機器の設定やテレビ電話、情報検索・メールの送受信といった機能を利用するためのボタンや差し込み口（コネクタ）が付いています。ここでは本商品の操作で利用できる各部の名称と機能をご紹介します。
なお、差し込み口（コネクタ）については、取扱説明書の「各部の名前」（14，15ページ）をご覧ください。

液晶ディスプレイの操作とディスプレイオフについて

本商品を使うには、液晶ディスプレイ（タッチパネル）をタッチペンでタッチします。
ここでは、本商品の基本操作および「ディスプレイオフ」と呼ばれる画面状態について説明します。

タッチ：
液晶ディスプレイ（タッチパネル）に表示されているボタンやアイコンに、タッチペンの先端で軽く触れる操作のことです。

ドラッグ：
タッチペンの先端でタッチパネルに触れたまま、上下左右に動かす操作のことです。メモ帳の編集画面で絵や文字をかいたり、範囲を選択したりします。

ディスプレイオフ：
本商品は省電力設計となっているため、一定時間何も操作しない状態が続くと、液晶ディスプレイ（タッチパネル）に何も表示されなくなり、節電状態となります。ディスプレイオフになるまでの時間は、**［設定］** → **［環境］** の順にタッチし、**［ディスプレイオフ］** で変更できます。この状態でも、電話の着信やメールの新着確認ができます。
画面をタッチしたり、電話の着信があると表示されます。

電源について

・電話をいつでも受けられるようにするために、普段は電源を切らないでください。
・設置場所の変更等で電源を切る場合は、電源オフ操作を行い、電源ランプが消えてから、ACアダプタの電源コードを電源コンセントから抜いてください。
　電源オフ操作を行うには､電源ボタンを押し､確認画面が表示されたら、**［電源オフ］** にタッチしてください。
・電源ボタンを４秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
　通常は、上記の電源オフ操作を行ってください。

画面上部の各ボタンについて

❶	キーボード	キーボードを表示します。キーボードの表示については、取扱説明書の「文字の入力のしかた」（40ページ）をご覧ください。
❷	ひかり FdN	ステータス表示。ネットワーク接続中などの状態を表示します。
❸	電話	電話画面を表示します。
❹	インターネット	情報検索の画面を表示します。
❺	メール	メールの画面を表示します。
❻	メモ帳	メモ帳画面を表示します。
❼	ファイル	本商品の内部メモリや外部メモリに保存されているファイルの一覧を表示します。

本体の**メニューボタン**を押すと、メインメニュー（❸から❼のボタン）の表示と非表示を切り替えます。

②のステータス表示アイコン（マーク）の意味

アイコン	意味
	新着メールがあります。
	DHCPでネットワークに接続中です。×印が付いているときは、ネットワーク未接続です。
	PPPoEでネットワークに接続中です。×印が付いているときは、ネットワーク未接続です。
	手動設定でネットワークに接続中です。×印が付いているときは、ネットワーク未接続です。
	システムのアップデートができます。システムのアップデートを行ってください。システムのアップデートについては、取扱説明書の「本商品のシステムをアップデートするには」（109ページ）をご覧ください。
ひかり ひかり	ひかり電話を利用できます。×印が付いているときは、ひかり電話を利用できません。
FdN FdN	FLET'S.NetナンバーでのIPテレビ電話サービスが利用できます。×印が付いているときは、IPテレビ電話サービスを利用できません。
050 050	プロバイダが提供する「050」番号を利用したIPテレビ電話サービスが利用できます。×印が付いているときは、IPテレビ電話サービスを利用できません。

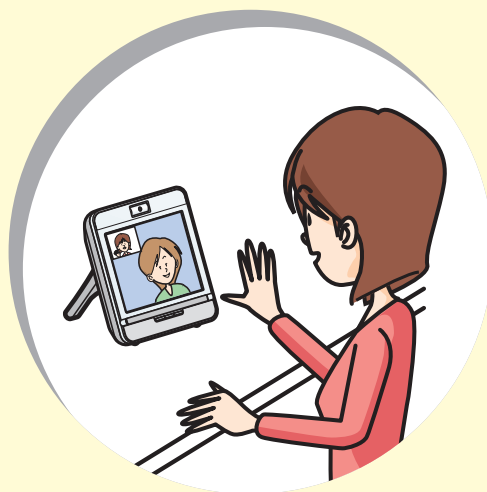
第1章 フレッツフォン VP2000簡単ナビゲーション

この章では、本商品のホーム画面やテレビ電話／情報検索／メールについて紹介します。

ホーム画面を使ってみましょう

ホーム画面を使う 12ページ

テレビ電話を使ってみましょう

テレビ電話をかける

テレビ電話を受ける

インターネットを使ってみましょう

インターネットを使う　38ページ

メールを使ってみましょう

メールを使う　42ページ

第2章 ホーム画面を使ってみましょう

この章では本商品のホーム画面の基本操作や便利な操作について説明します。

ホーム画面の構成

❶	イメージウィンドウ	壁紙やホームページ、カレンダーを表示します。 表示する内容は、待ち受け設定画面で変更ができます。 参照 「イメージウィンドウの表示を変更する」（18ページ）
❷	情報ウィンドウ	現在の日付・時間、留守録件数を表示します。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用時は留守録件数は表示されません。
❸	ホームメニュー	**[電話]** 電話画面を表示します。 **[インターネット]** ブラウザ画面を表示します。 **[メール]** メール画面を表示します。 **[電話帳]** 電話帳画面を表示します。 **[設定]** 設定画面を表示します。
❹	ワンタッチメニュー	各ボタンに登録されているホームページをイメージウィンドウで表示します。 各ボタンの登録方法については、設定ガイドの第４章「4-6 ワンタッチボタンの設定」（52ページ）をご覧ください。
❺	ミニカレンダー	初期表示では、現在の月を表示します。現在の日付には、◯マークが付きます。予定の入力がある日付には、□マークが付きます。ミニカレンダー横の◀▶にタッチすると表示しているミニカレンダーの月が変わります。ミニカレンダーをタッチするとイメージウィンドウにカレンダーを表示します。
❻	拡大表示	イメージウィンドウで表示している内容をブラウザ画面で表示します。

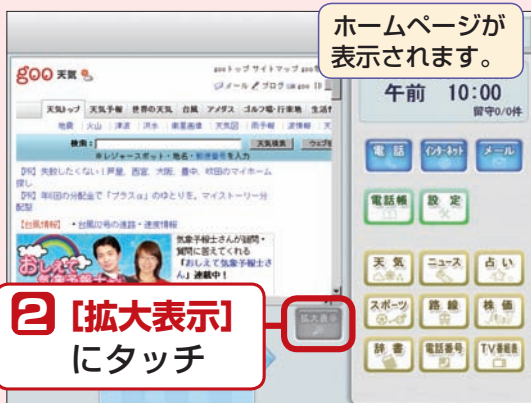
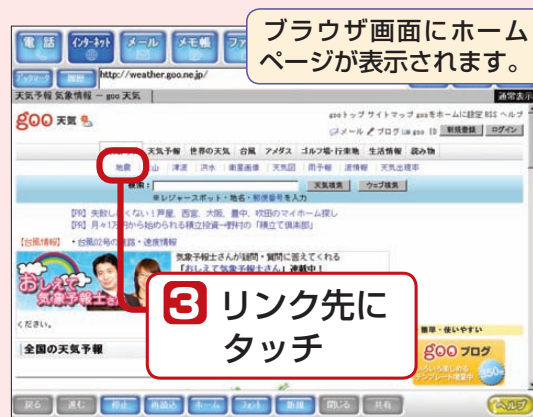
・本体の**メニューボタン**を押すと、画面上のボタンを非表示にすることができます。
　再度、本体の**メニューボタン**を押すと、ボタンが表示されます。
・本体の**ホームボタン**を押すと、イメージウィンドウが初期表示に戻ります。

！ 通話中の場合、ワンタッチメニューおよび[拡大表示]は表示されません。また、イメージウィンドウに［通話中のため、ワンタッチメニューおよび拡大表示ボタンはご利用いただけません］と表示されます。なお、イメージウィンドウにカレンダーは表示されません。

ホーム画面を活用する

ホーム画面では、ワンタッチでホームページを表示したり、カレンダーに予定を入力したり、イメージウィンドウの表示を変更することができます。また、他の機能画面を表示することもできます。

●ホームページを表示する

ワンタッチボタンに設定したホームページを表示することができます。ここでは、[天気] で登録したホームページを表示する手順を説明します。

[拡大表示] にタッチすると、イメージウィンドウに表示されているページがブラウザ画面で表示されます。なお、Webページによっては、同じ内容で表示されないことがあります。

ホーム画面で認証などを行い、[拡大表示] にタッチして、ブラウザ画面を表示すると、再度認証などが必要になる場合があります。

ワンタッチボタンの登録を行わない場合、ワンタッチメニューが表示されません。

ワンタッチボタンのホームページの変更を行う場合は [設定] → [ワンタッチ] の順にタッチしてください。設定方法については、設定ガイドの第4章「4-6 ワンタッチボタンの設定」(52ページ) をご覧ください。

[戻る] にタッチすると、直前に表示されていたページに戻ります。

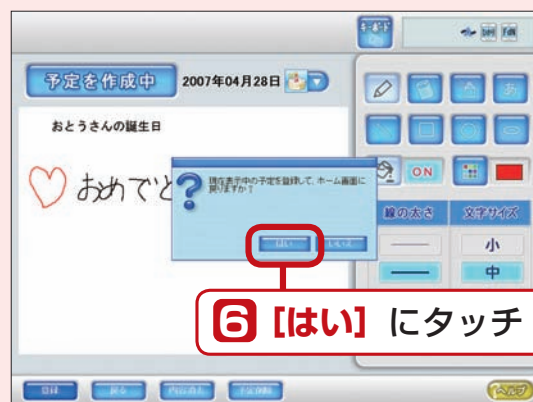
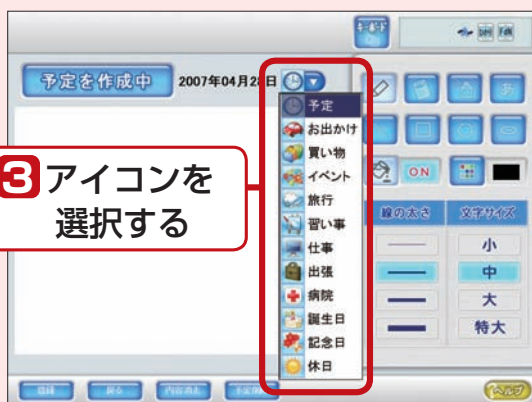
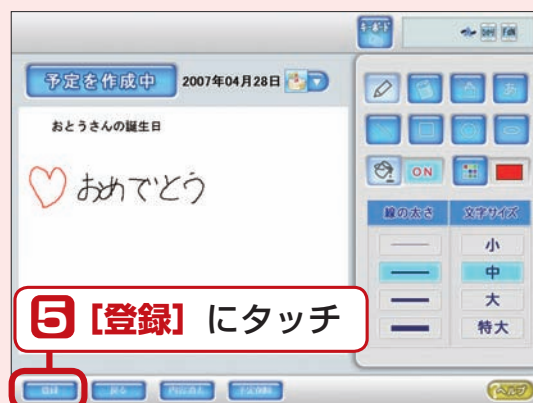
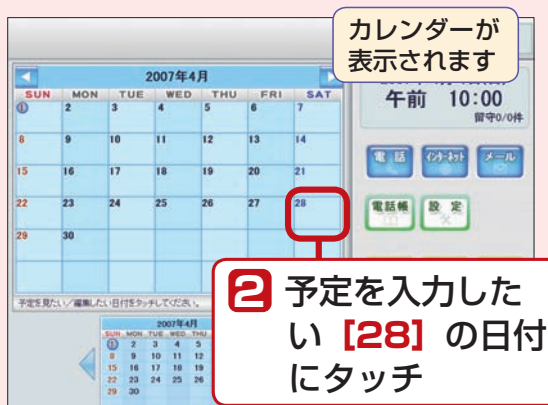
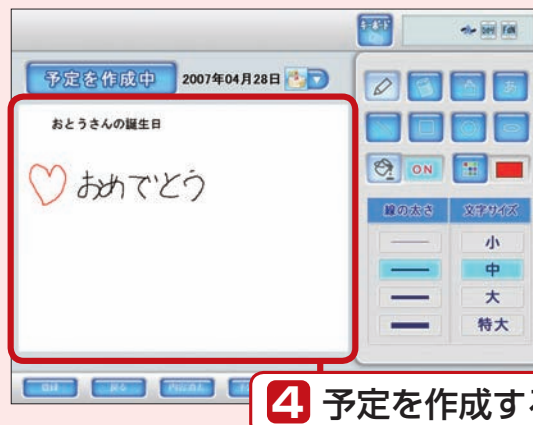
本体のホームボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

コンテンツによっては、正しく表示できない場合があります。

ホームページにより、一部正しく動作しない場合があります。

ホームページを表示した際に正しく表示できない場合、自動でホーム画面へ遷移する場合があります。

●予定を入力する

カレンダーに予定を登録できます。ここでは、4 月 28 日に誕生日を登録する手順を説明します。

カレンダーをタッチして予定を入力する時に内部メモリの空き容量が不足している場合には、エラーメッセージが表示されます。予定を新規作成する場合は、予定作成画面は表示されません。入力済みの予定内容の確認と削除のみ可能です。
不要な予定を削除して内部メモリの空き容量を増やしてください。

カレンダーで表示可能な範囲は2007年1月～2070年12月です。

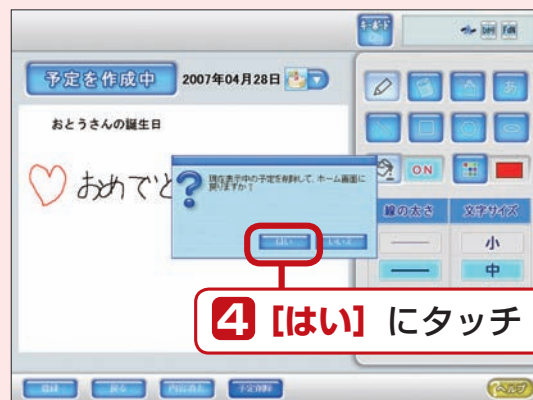
カレンダーを表示中は、[拡大表示]は押せません。

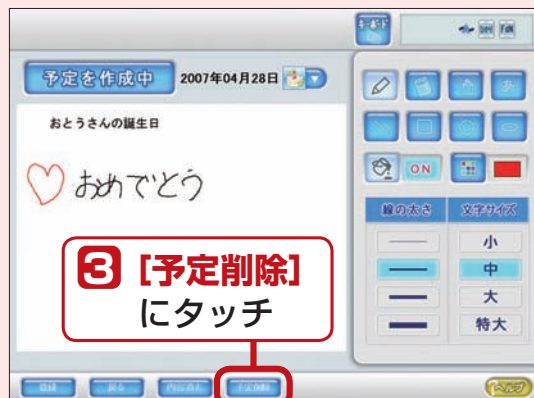
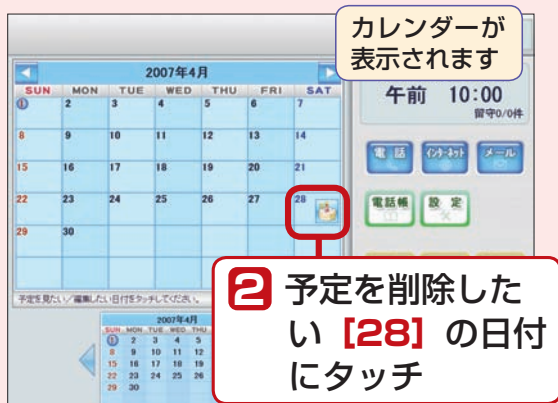
本体のホームボタンを押すと、ホームの初期状態に戻ります。

同じ日付の予定内容の変更を繰り返すと、予定内容の画像が劣化します。

予定作成中にホームボタンを押す、電話の着信に応答する、待ち受け移行時間が経過するなど、予定作成画面が終了した場合、作成中の予定は、自動で登録されます。

●予定を削除する（1 件削除）

カレンダーの予定を削除することができます。
ここでは、4 月 28 日に登録されている予定を削除する手順を説明します。

表示している当日の予定を削除することができます。

第2章 ホーム画面を使ってみましょう

●予定を削除する（まとめて削除する）

予定をまとめて削除することができます。

1 ［ミニカレンダー］にタッチ

カレンダーが表示されます

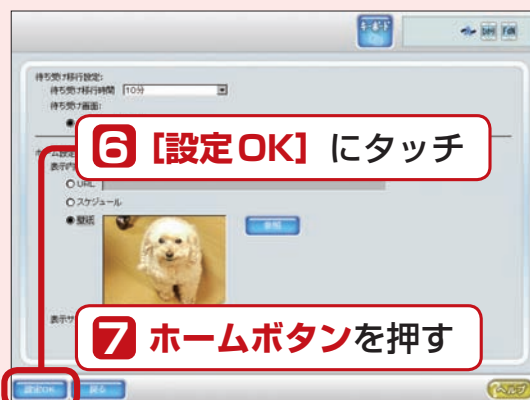
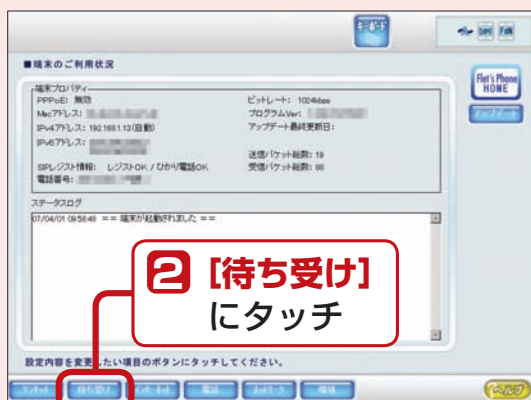
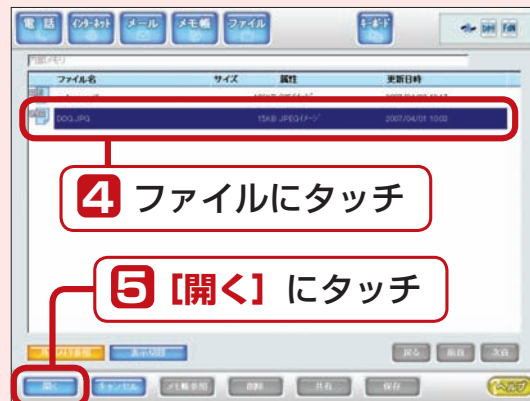
2 ［予定削除］にタッチ

3 ［全て］にタッチ

［前月まで］にタッチすると表示している前の月までの予定を削除することができます。

4 ［はい］にタッチ

●イメージウィンドウの表示を変更する

ホーム画面のイメージウィンドウに表示する画像を変更する手順を説明します。

●他の画面を表示する

ここでは、電話画面を表示する手順を説明します。

本体の**ホームボタン**を押すと、ホーム画面に戻ります。

[電話] にタッチ 20ページ

[インターネット] にタッチ 38ページ

[メール] にタッチ 42ページ

第3章 テレビ電話を使ってみましょう

この章では本商品で電話をかけたり受けたりするときの、基本操作や便利な操作について説明します。本商品で、声のやり取りはもちろん、映像のやり取りも存分にお楽しみください。

テレビ電話を始める前に

●電話をかける前に相手の番号をチェックしましょう

通話したい相手が本商品からつながるかどうかチェックしましょう。

[ひかり電話の場合]

種類	発信先の電話番号	発信できるサービス
加入電話番号	例:03-XXXX-XXXX 06-XXXX-XXXX	ひかり電話で発信できます。
050番号 （IP電話）	例:050-XXXX-XXXX	ひかり電話で発信できます。
0X0 （050以外）	例:携帯電話（090）、 PHS（070）、 国際電話（010）など	ご契約されたひかり電話サービスのサービス内容により異なります。 **[ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象の場合]** →ひかり電話で発信できます。 **[ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象外の場合]** →加入電話でおかけください。
00XY	例:0036などで始まる番号	
0XY0 （市外局番以外）	例:0120、0570などで 始まる番号	
1XY	110、118、119などの 緊急電話	ひかり電話で発信できます。
	184／186番+電話番号 ※電話番号に市外局番を付けて発信してください。	ひかり電話で発信できます。
	その他の「1」で始まる番号	契約されたひかり電話のサービス内容によります。 **[ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象の場合]** **（例： 177など）** →ひかり電話で発信できます。 **[ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象外の場合]** **（例： 106など）** →加入電話でおかけください。
#で始まる4桁のダイヤル		加入電話でおかけください。
1桁または2桁の電話番号		内線電話として発信できます。

[プロバイダが提供する「050」番号を利用したIPテレビ電話サービスの場合]

種類	発信先の電話番号	発信できるサービス
加入電話番号	例:03-XXXX-XXXX 06-XXXX-XXXX	IPテレビ電話サービスで発信できます。
050番号 (IP電話)	例:050-XXXX-XXXX	IPテレビ電話サービスで発信できます。 ※契約されたIPテレビ電話サービスとは異なるサービスのご利用者とは、通話できない場合があります。
0X0 (050以外)	例:携帯電話(090)、PHS(070)、国際電話(010)など	ご契約されたIPテレビ電話サービスのサービス内容により異なります。 **[ダイヤルした番号がIPテレビ電話サービス対象の場合]** →IPテレビ電話サービスで発信できます。 **[ダイヤルした番号がIPテレビ電話サービス対象外の場合]** →加入電話でおかけください。
00XY	例:0036などで始まる番号	
0XY0 (市外局番以外)	例:0120、0570などで始まる番号	
1XY	110、118、119などの緊急電話	加入電話でおかけください。
	184/186番+電話番号 ※電話番号に市外局番を付けて発信してください。	IPテレビ電話サービスで発信できます。
	その他の「1」で始まる番号 例:177など	加入電話でおかけください。 ※番号によっては市外局番を付けることでIPテレビ電話サービスで発信できる場合があります(例: 177など)。
#で始まるダイヤル		加入電話でおかけください。

[FLET'S.Netナンバーを利用したIPテレビ電話サービスの場合]

種類	発信先の電話番号	発信できるサービス
FLET'S.Net ナンバー ダイヤルナンバー	例:XXXXXXXXX(9桁)	NTT東日本のFLET'S.Netナンバーで発信できます。 ※利用するIPテレビ電話サービスに、FLET'S.Net ナンバーを選択した場合に発信できます。 ※同じサービスまたは「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能を利用したIPテレビ電話サービスを利用している相手にしか、発信できません。
1XY	184/186+ FLET'S.Netナンバー 184/186+ ダイヤルナンバー	IPテレビ電話サービスで発信できます。
	その他の「1」で始まる番号 例:177など	加入電話でおかけください。

●テレビ電話の画面構成

[電話をしていないとき（待ち受け）の場合]
電話がつながっていないとき（待ち受け中）は、次のような画面が表示されます。

[電話がつながった場合]

電話がつながると、左のようなアイコンが表示されます。

[テレビ電話中（拡大表示時）の場合]
テレビ電話中（拡大表示時）は、次のような画面が表示されます。

❶	Flet's Phone	カメラ映像や待受画面を表示します。
❷	2007年 4月 1日(日)	通話相手の電話番号が表示されます。通話相手が電話帳に登録されている場合は、名前も表示されます。待ち受け時には、時刻と留守番電話の未再生件数／総件数が表示されますが、フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用時は、留守番電話の件数は表示されません。ひかり電話と他の電話サービスを併用して利用する場合、[＊] にタッチすると [FdN] と表示され、発信する電話サービスを変更できます。
❸	発 信 応 答	電話をかけたり受けたりします。電話がかかってくると［応答］表示になります。電話については、取扱説明書の「電話番号を入力して電話をかけます」(56ページ)、「電話を受けます」(67ページ)、画面上のヘルプをご覧ください。
❹	修 正	入力した電話番号を末尾から１文字ずつ削除します。
❺	切 断	電話を切ります。
❻	ダイヤル	ダイヤル画面を表示します。
❼	短 縮	短縮画面を表示します。短縮ボタンについては、取扱説明書の「短縮ボタンから電話をかけます」（64ページ）をご覧ください。
❽	電話帳	電話帳を表示します。
❾	発信履歴	発信履歴を表示します。
❿	着信履歴	着信履歴を表示します。
⓫	留 守	留守番電話の設定／解除を行います。 フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合、本ボタンは表示されません。
⓬	再 生	留守番電話の再生画面を表示します。 フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合、本ボタンは表示されません。
⓭	映像確認	カメラ映像の確認・調整画面を表示します。
⓮	ハンドフリー	オプションのハンドセットを接続しているときに表示されます。通話中にボタンにタッチしてハンドセットを置き台に置くと、ハンドフリーで通話できるようになります。ハンドセットについては、取扱説明書の「ハンドセット（オプション）を使って電話をかけます」（66ページ）、「ハンドセット（オプション）を使って電話を受けます」（70ページ）をご覧ください。

⑮	待受画像	イメージウィンドウの表示を切り替えます。[待受画像] と表示されているときは、イメージウィンドウに待受画面が表示されます。[自画像] と表示されているときは、自分側のカメラ映像（内蔵カメラの映像）が表示されます。通話中は、自分側が画像送信をしていない場合は自画像への切り替えはできません。[相手画像] は、通話中に相手側が画像送信をした場合に表示されます。
⑯	外部入力 内部カメラ	内蔵カメラの映像と映像入力端子からの映像を切り替えます。[内部カメラ] が表示されているときは、内蔵カメラの映像が表示されています。[外部入力] が表示されているときは、映像入力端子に接続されている機器からの映像が表示されています。
⑰	履歴詳細	発信履歴と着信履歴の詳細を表示します。操作パネルに発信履歴または着信履歴を表示している場合のみボタンが有効になります。
⑱	番号登録	情報ウィンドウに表示された電話番号を電話帳、着信拒否、自動応答、短縮に登録します。情報ウィンドウに電話番号が表示されている場合のみボタンが有効になります。
⑲	オプション	テレビ電話についての各種設定を行います。
⑳	（小）	受話音量を小さくします。通話時以外の音については、オプション画面の中で調節します。
㉑		受話音量を表示します。
㉒	（大）	受話音量を大きくします。通話時以外の音については、オプション画面の中で調節します。
㉓	ヘルプ	電話機能についてのヘルプ画面を表示します。

●電話に関する各種設定の画面構成

[オプション画面]

待ち受け画面で **[オプション]** にタッチすると、次のような画面が表示されます。
ここでは、電話に関する詳細な設定ができます。

❶	非通知着信拒否	電話番号を非通知に設定した電話からの、着信の拒否（ON）／許可（OFF）を切り替えます。
❷	着信音	着信音を切り替えます。**[試聴]** にタッチすると、着信音を試聴できます。試聴中に **[停止]** にタッチすると、試聴を停止できます。着信音に **[ユーザ設定]** を選択すると、**[登録]** が有効になり、着信音として登録する音声ファイル(WAVファイル)を選択できます。
❸	主音量	着信音やダイヤル中の音など､通話中以外の音量を調節します。**[規定値]** にタッチすると、工場出荷時の音の大きさになります。
❹	映像帯域	相手側に送信する映像のデータ量を設定します。大きな値に設定すると高画質の映像を送信できますが、処理が遅くなる場合があります。ひかり電話の場合は内線通話のみ設定が有効になります。なお、フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合は、本設定は表示されません。
❺	通話開始時	通話開始時に映像を送信するかどうかを設定します。**[映像ON ／ OFF]** は、通話開始時に映像を送信するかを設定します。**[全画面ON ／ OFF]** は､通話開始時に全画面表示するかを設定します。
❻	通話時間表示	通話中に映像を拡大表示した場合、通話時間を表示するかどうかを設定します。
❼	呼出音鳴動秒数（目安）	着信から何秒後に留守番電話に切り替わるかを設定します。0～30秒を設定することができます。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合は、本設定は表示されません。
❽	最大保存秒数	1回の留守録で保存する最大秒数を設定します。20、30、40を設定することができます。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合は、本設定は表示されません。
❾	メッセージ保存先	留守録を保存する場所を設定します。保存先として内部メモリまたは外部メモリ（USBフラッシュメモリ）装着時には外部メモリが利用できます。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合は、本設定は表示されません。
❿	メッセージ保存件数（目安）	最大保存秒数とメッセージ保存先に選択したメモリの空き容量から保存できる件数の目安を計算して表示します。 ※留守録メッセージは、最大99件まで保存可能です。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合は､本設定は表示されません。

フレッツフォン VP2000で電話をかける

それではさっそく電話をかけてみましょう。相手が本商品なら、すぐにテレビ電話を体験できます。

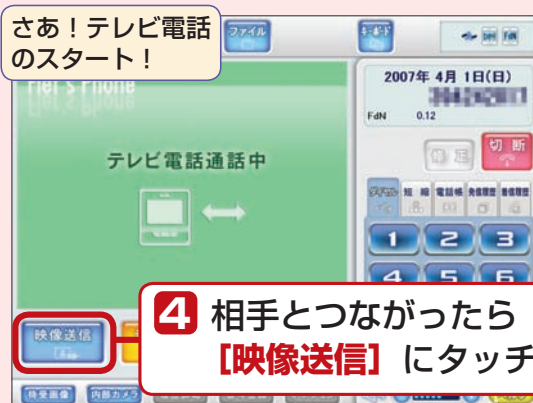
●電話をかけてみましょう

入力した電話番号は情報ウィンドウに表示されます。

ひかり電話と他の電話サービスを併用して利用している場合、通常はひかり電話で発信します。[＊] にタッチすると [FdN] と表示され、発信する電話サービスを切り替えることができます。

フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」を利用している場合、電話番号の先頭に「0000」をつけて発信すると、音声発信になります。「0000」+「184」+「相手番号」で非通知発信できます。

電話番号を間違えた場合は

[修正] で入れ直します。

映像を送信するには

にタッチするまでは相手には映像が送られません（通話開始時に [映像OFF] と設定している場合）。

第3章 テレビ電話を使ってみましょう

受話音量を小さくできます。

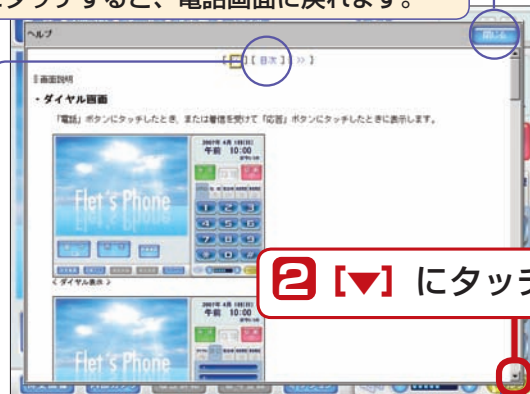
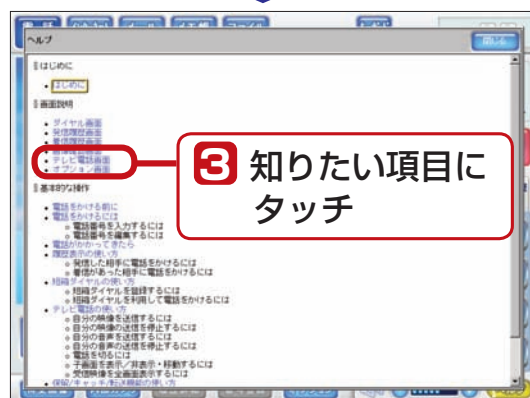
受話音量を大きくできます。

［映像送信］は自分と相手のどちらから先にタッチしてもかまいません。

［映像拡大］にタッチするとカメラ映像が拡大表示されます。

ヘルプの使いかた

本商品には、各画面にヘルプが用意されています。たとえば、電話画面で右下の［ヘルプ］にタッチすると、テレビ電話の詳しい使いかたが確認できます。

通話中でもヘルプを見ることができます。

詳しい説明を読むことができます。

フレッツフォン VP2000で電話を受ける

次は、電話を受けてみましょう。FLET'S.Netナンバーをご利用のかたは本商品から、また、ひかり電話・プロバイダのIPテレビ電話サービス（050から始まる電話番号）をご利用のかたは、携帯電話や加入電話からの着信もできます。

●電話がかかってきたら

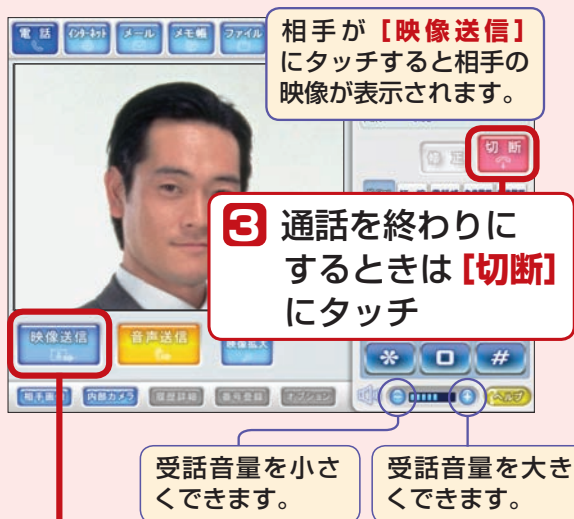
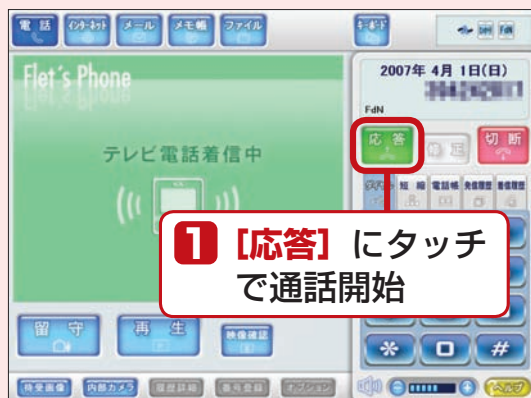
電話がかかってくると、着信音が鳴り、画面に「テレビ電話着信中」と表示されます。

1 ［応答］にタッチで通話開始

相手が［映像送信］にタッチすると相手の映像が表示されます。

3 通話を終わりにするときは［切断］にタッチ

受話音量を小さくできます。

受話音量を大きくできます。

2 ［映像送信］にタッチで自分の映像を送信（タッチするまでは自分の映像は送られません）

［映像送信］は自分と相手のどちらから先にタッチしてもかまいません。

［映像拡大］にタッチするとカメラ映像が拡大表示されます。

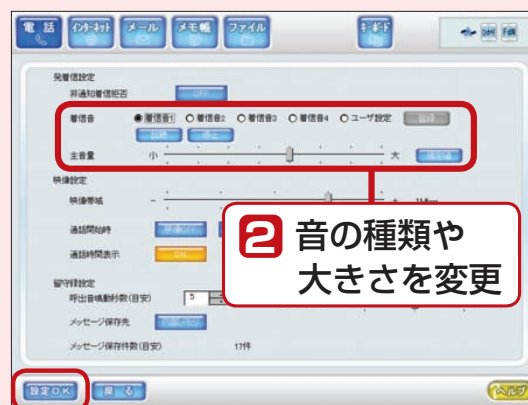
●着信音の変更

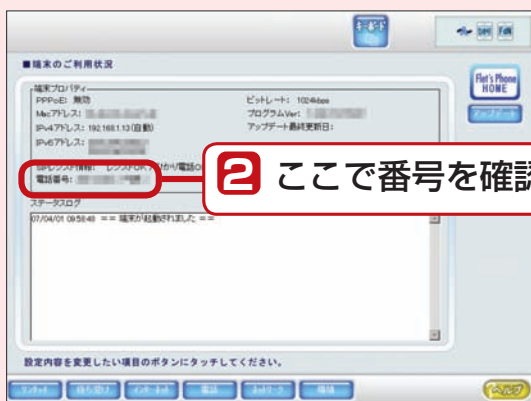
［オプション］で、着信音の大きさや種類を変更することができます。

1 ［オプション］にタッチ

2 音の種類や大きさを変更

3 ［設定OK］にタッチで設定完了！

第3章 テレビ電話を使ってみましょう

●自分の番号を知るには

ホーム画面で **[設定]** にタッチすると、自分の電話番号を確認することができます。

本体の**ホームボタン**を押すと、ホーム画面に戻れます。

内線番号は「ひかり電話ルータ」により自動的に設定されます。内線番号を変更したい場合は「ひかり電話ルータ」の取扱説明書をご確認ください。

カメラ写りをCHECK!

電話をかけていないときでも、**[待受画像]** にタッチすれば、カメラで自分がどのように写るのかを確認できます。

[待受画像] にタッチすると、ボタン名が **[自画像]** に切り替わります。

情報検索中やメール利用中に電話がかかってきたら

情報検索やメール画面など、電話以外の画面を使っているときにも着信音と着信を知らせるメッセージが表示されます。**[応答]** にタッチすれば、すぐに電話の画面で通話を始めることができます。

第3章 テレビ電話を使ってみましょう

もっと便利に❶　ひかり電話で保留・キャッチ

ひかり電話をご契約している場合、保留、キャッチホン、内線、内線転送機能を利用することができます。
ただし、映像通話時には、保留、キャッチホン、内線転送はできません。

●通話中の電話を保留する

通話中に

1 ［保留］にタッチ

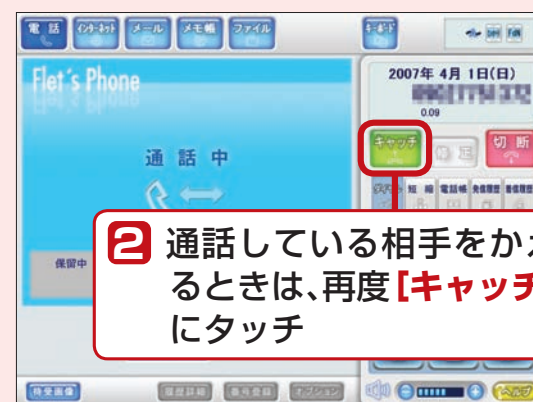
保留しているときは、通話相手に保留音が流れます。

2 通話するときは、再度［保留］にタッチ

●通話中のキャッチホン着信

通話中に

電話がかかってくると

1 ［キャッチ］にタッチ

2 通話している相手をかえるときは、再度［キャッチ］にタッチ

キャッチホンを利用するには、別途付加サービスの契約が必要です。

［キャッチ］にタッチして通話相手をかえると、情報ウィンドウの電話番号、通話時間表示もかわります。

ホン・内線・内線転送

●内線通話を行う

相手とつながったらお話しください。

! 内線通話は、数字１桁または２桁で発信します。

●通話を内線転送する

通話中に

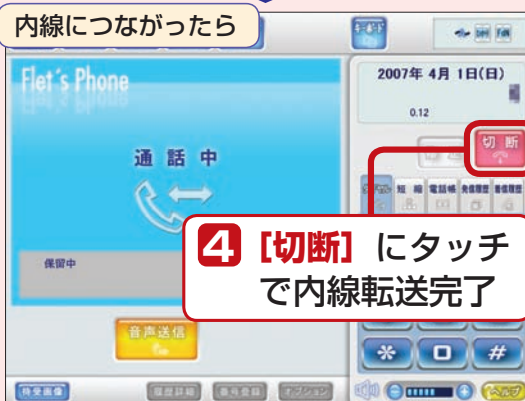
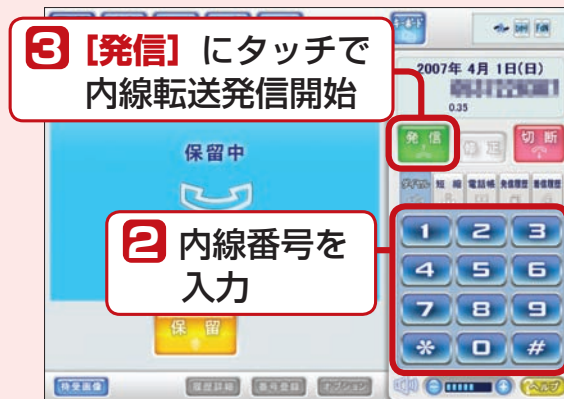
1 [保留] にタッチ

3 [発信] にタッチで内線転送発信開始

2 内線番号を入力

内線を呼び出します。

内線につながったら

4 [切断] にタッチで内線転送完了

もっと便利に❷　電話帳を活用する

「電話帳」では、複数の電話番号やメールアドレスを一緒に管理することができます。

●電話帳に登録するには

1 [電話帳]にタッチ

2 [新規登録]にタッチ

3 [キーボード]にタッチ

4 必要な項目を入力

参照 「キーボードを使ってみましょう」（54ページ）

5 [完了]にタッチで設定完了！

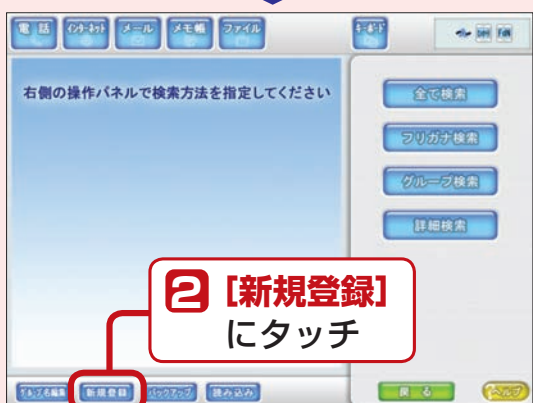
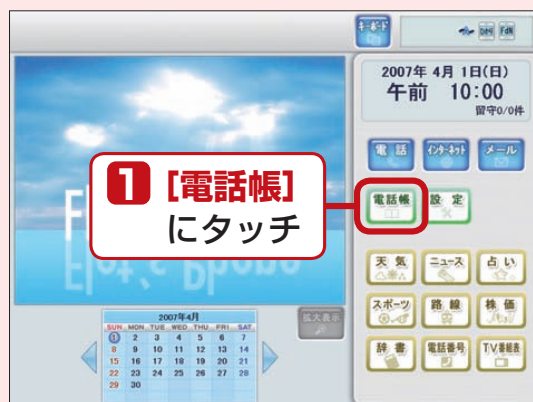
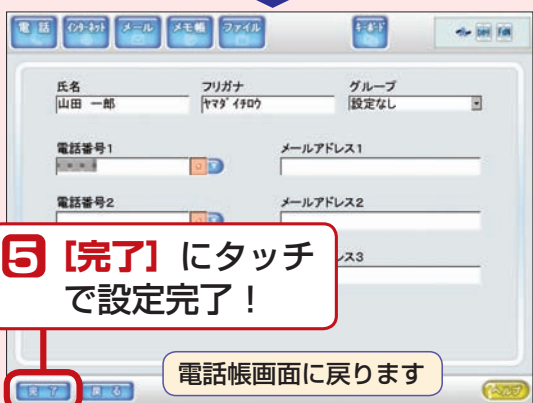
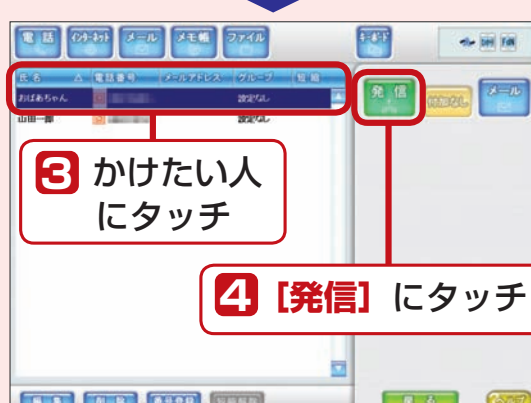
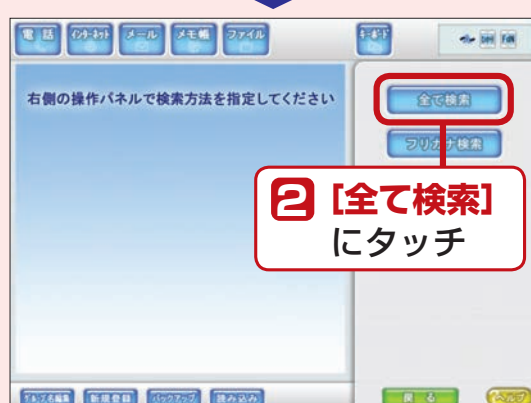
電話帳画面に戻ります

●電話帳から電話をかけるには

1 [電話帳]にタッチ

2 [全て検索]にタッチ

3 かけたい人にタッチ

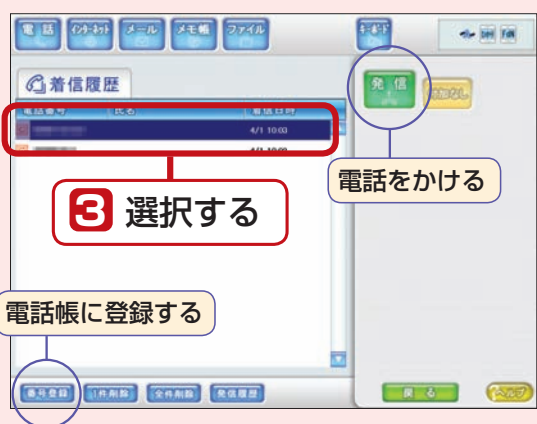
4 [発信]にタッチ

電話帳に登録の際、相手先電話番号の種類に応じたアイコンを選択してください。

加入電話の場合	または
ひかり電話の場合	または
携帯電話の場合	
FLET'S.Netナンバーもしくはダイヤルナンバーの場合	V6 または V6

! アイコンを間違えて設定すると、正しく電話をかけることができません。

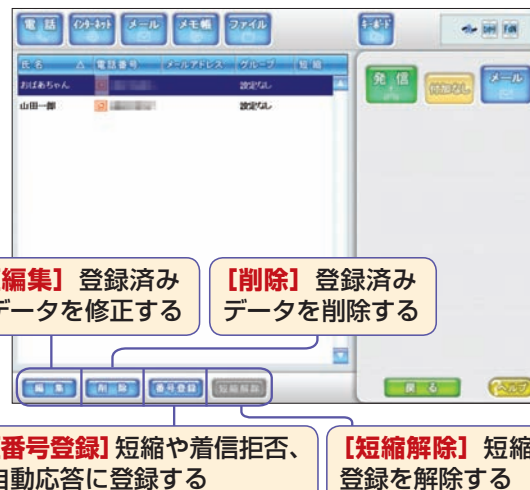
●発信履歴・着信履歴の活用

発信履歴画面および着信履歴画面では、過去の発信や着信を参照して電話をかけたり、電話帳に登録することができます。

[発信履歴]、または [着信履歴] にタッチすると、[履歴詳細] は有効になります。

発信履歴・着信履歴はどちらも同じ操作で使用できます。

電話帳ワンポイント

一覧画面では、データの新規作成や編集・削除のほか、「短縮」に登録をすることができます。編集画面では、電話の種類を示すマークを選択することができます。

一覧画面

編集画面

電話帳に登録されている相手から電話がかかってきたら

「電話帳」に登録した相手から電話がかかってくると、情報ウィンドウに電話番号と登録した名前が表示されます。また、「着信履歴」にも登録した氏名が記載されるので、いつ、誰から電話がかかってきたかがわかりやすくなります。
なお、電話帳には最大250件登録できます。1件につき、電話番号とメールアドレスをそれぞれ3つずつ登録できます。

第3章 テレビ電話を使ってみましょう

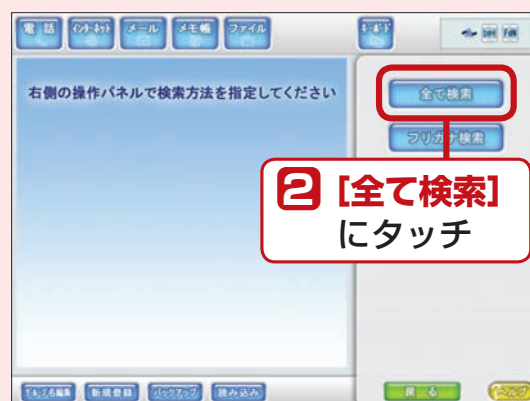
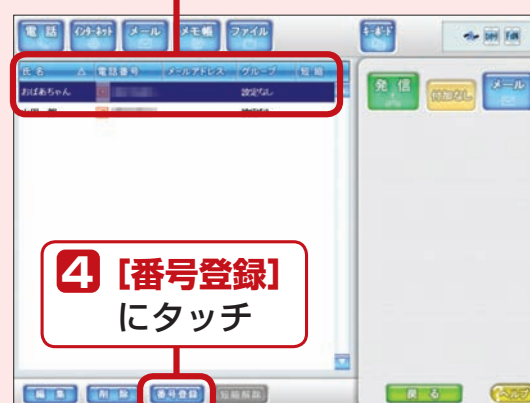
もっと便利に❸　短縮ボタンを活用する

［短縮］に登録すると、短縮ボタンで簡単に電話をかけることができます。

短縮画面

［短縮］は最大６件まで登録できます。

●短縮に登録するには

❶［電話帳］にタッチ

参照「キーボードを使ってみましょう」（54ページ）

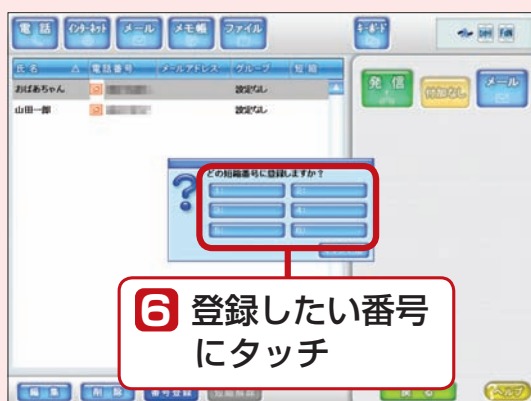
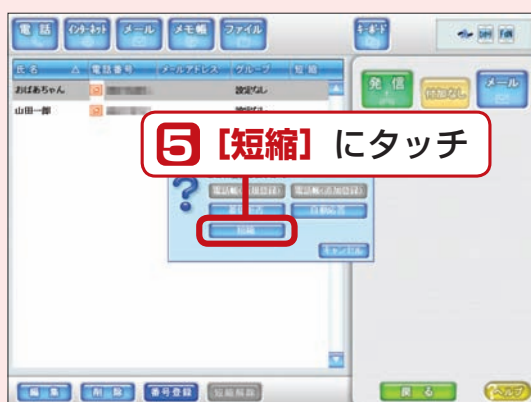
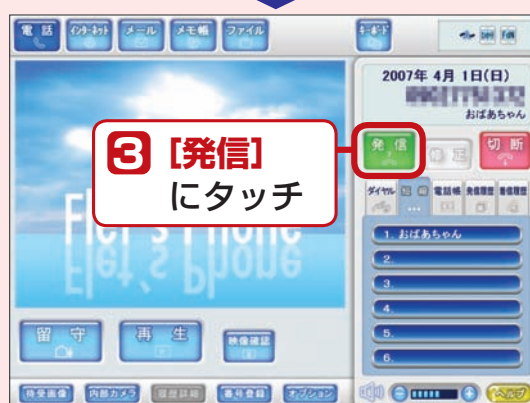
●短縮ボタンから電話をかけるには

1 [短縮]
にタッチ

2 かけたい相手にタッチ

3 [発信]
にタッチ

呼出中

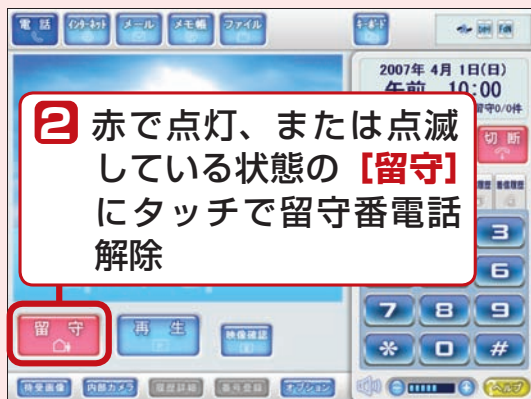
発信中・・・

もっと便利に④　留守番電話を活用する

本商品で留守番電話を利用することができます。

●留守番電話を設定／解除するには

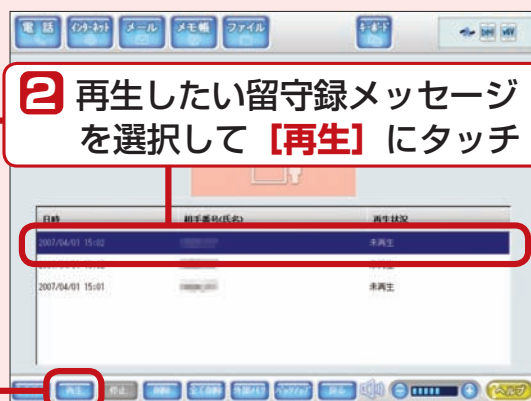
留守番電話の設定

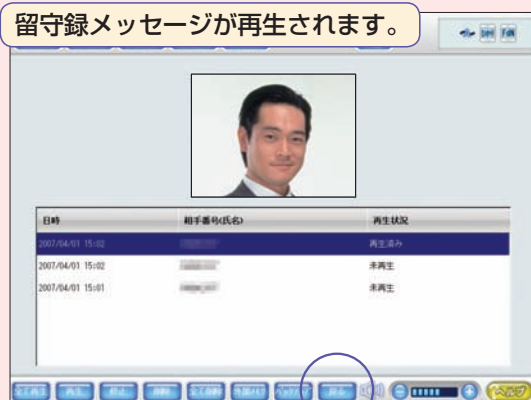
留守番電話が設定され、留守番電話応答メッセージが再生されます。

留守番電話の解除

未読の留守録メッセージがある（［留守］が点滅している）場合は､｢留守録メッセージを再生しますか？｣と表示されます。

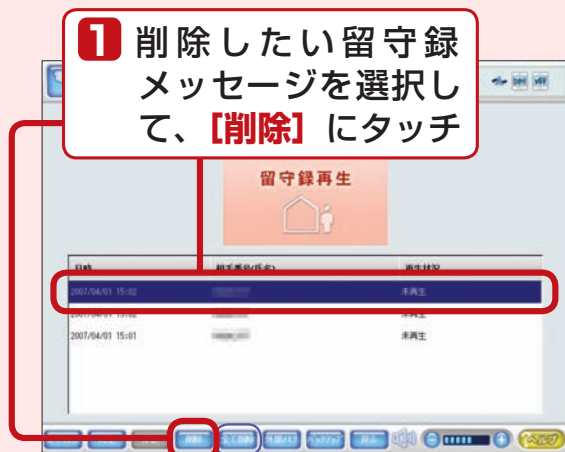
フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」ご利用のお客さまは、留守番電話がご利用できません。

●留守録メッセージを再生するには

［留守］が点滅していない場合､未再生の留守録メッセージはありません。

留守録メッセージ一覧画面を表示中は一時的に留守番電話が解除されます。

留守録メッセージが再生されます。

［戻る］にタッチすると留守番電話の設定状態を元に戻して電話画面に戻ります。

●留守録メッセージを削除するには

1 削除したい留守録メッセージを選択して、**[削除]** にタッチ

全件削除したい場合は、**[全て削除]** にタッチします。

電源ランプでのイルミネーション機能

電源ランプは下記のように色が変わります。

装置の状態	ランプの色	ランプの状態
通常の状態	緑	点灯
留守番電話が設定されていて留守録メッセージがない場合	橙	点灯
留守番電話が設定されていて留守録メッセージがある場合や新着メールが存在している場合	橙	ゆっくりした点滅
システムをアップデート中	橙	速い点滅

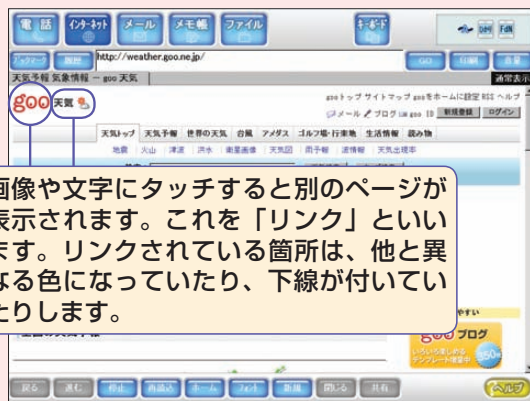
上記のシステムをアップデート中（電源ランプが橙で速い点滅をしている状態）に本商品の電源を切ると、データが壊れたり、本商品が起動しなくなるおそれがありますので行わないでください。

第４章 インターネットを使ってみましょう

この章ではプロバイダのインターネット接続サービスを利用している場合の情報検索について説明します。

情報検索を始める前に

●情報検索を始めるには

ホーム画面より**［インターネット］**にタッチすると情報検索の画面（ブラウザ画面）が表示されます。

すべての文字や画像にリンクがあるとは限りません。

通話中は動きのあるコンテンツを表示することはできません。ブラウザ右上に［簡易表示］が表示され、文字中心の表示になります。通話を切ったあと、画面内のコンテンツのリンクをタッチしても［簡易表示］のままです。**［再読込］**にタッチすると、［通常表示］に戻ります。

●ブラウザの画面構成

情報が画面に入りきらない場合

情報が画面に入りきらない場合、スクロールバーが表示されます。**［▼］**などにタッチすることで続きを読むことができます。

URLとは？

URLはアドレスとも呼ばれ、いわば「インターネット上の住所」のようなものです。基本的にすべて半角の小文字で入力します。

❶	ブックマーク	よく見るページを登録して、次回から簡単に目的のページにアクセスできるようにします。
❷	履歴	今までに見たホームページのURL（アドレス）が一覧表示されます。
❸	アドレス欄	ホームページのURLの表示や、直接入力をします。
❹	GO	アドレス欄に入力したURLへ移動し、内容を表示します。
❺	印刷	閲覧中のホームページを印刷します。 ※表示しているホームページによっては、表示どおりの印刷ができない場合があります。
❻	音量	ホームページ閲覧中の音量を調節できます。
❼	ブラウザタブ	現在閲覧しているページのタイトルが表示されます。
❽	通常表示 簡易表示	通常は 通常表示 です。本商品への負荷が大きい場合には 簡易表示 に切り替わります。この場合はFlashやActiveXを用いて作成されたコンテンツを利用できません。
❾	戻る	直前に表示されていたページに戻ります。
❿	進む	［戻る］にタッチする前に表示されていたページへもう一度進みます。
⓫	停止	本商品に読み込み中で、途中まで表示されているページの読み込みを停止します。
⓬	再読込	表示中のページをもう一度読み込みます。内容が最新の状態となります。
⓭	ホーム	"スタートページ"として指定されているページを開きます。スタートページはホーム画面より［設定］→［インターネット］で変更できます。 詳しくは41ページへ
⓮	フォント	現在表示されているページの文字サイズを変更することができます。 ※実際にサイズが変わるかどうかは表示しているページによって異なります。
⓯	新規	現在表示されているページのほかに、別のページ（ブラウザタブ）を開きます。本商品では、同時に3ページまで表示できます。すでに3ページ開いていた場合、このボタンは無効となりタッチできません。
⓰	閉じる	現在表示されているブラウザタブを閉じます。ただし、1ページしか表示していない場合、このボタンは無効となりタッチできません。
⓱	共有	通話中の相手がフレッツフォンVP1000やVP1500、本商品の場合、自分側で表示しているホームページを知らせることができます。ひかり電話の場合、このボタンが無効となりタッチできません。
⓲	ヘルプ	ヘルプ画面を表示します。操作中にわからないことが出てきたら、ここにタッチして該当箇所を参照してください。

インターネットで情報検索

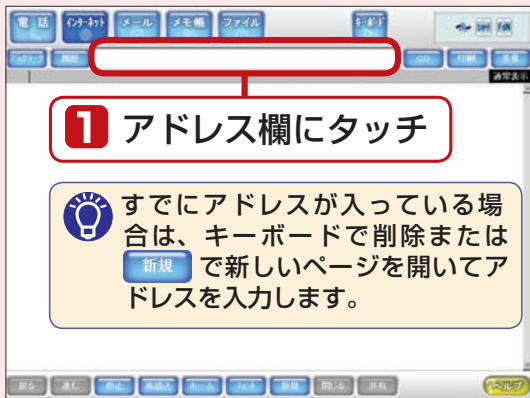
さっそくインターネットにアクセスし、情報検索をしてみましょう。

●URLを指定して表示するには

1 アドレス欄にタッチ

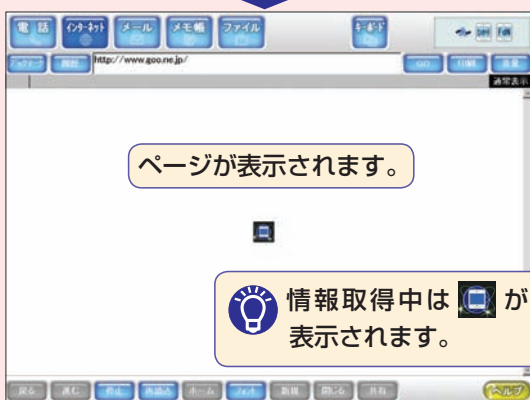
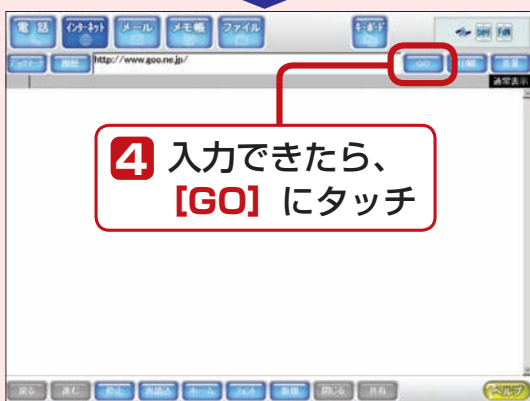
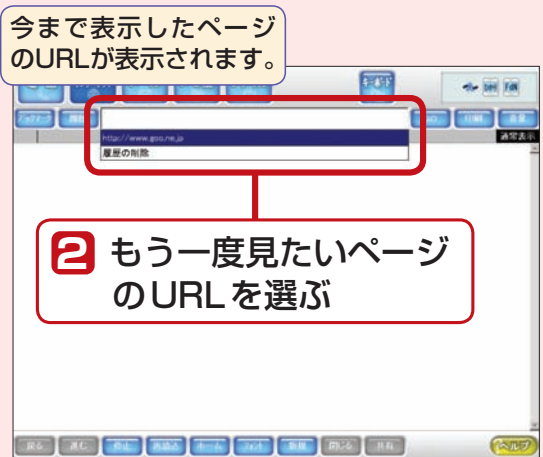
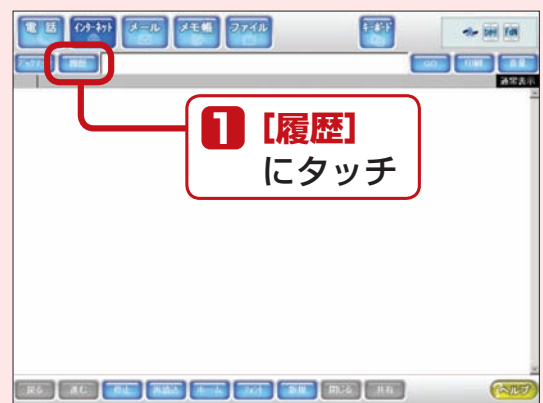
すでにアドレスが入っている場合は、キーボードで削除または 新規 で新しいページを開いてアドレスを入力します。

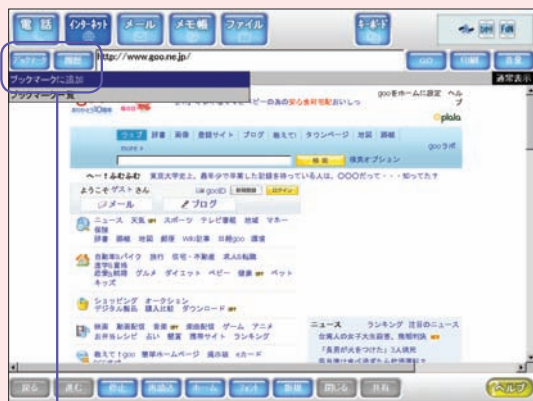
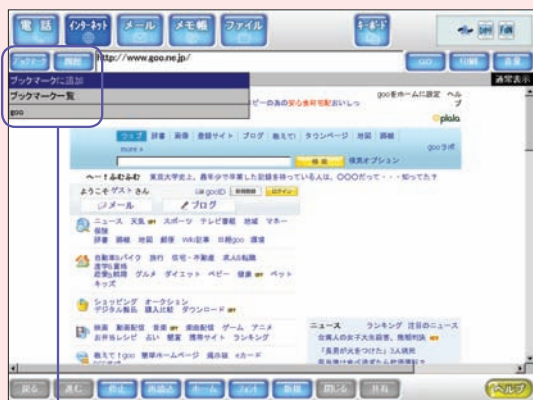
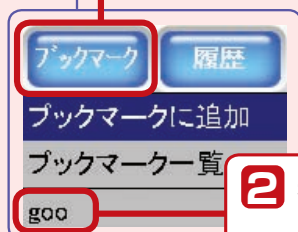
2 [キーボード] にタッチ

3 URLを入力

参照 [ABC] のキーボードでは、URLでよく使う文字を簡単に入力できます（59ページ）。

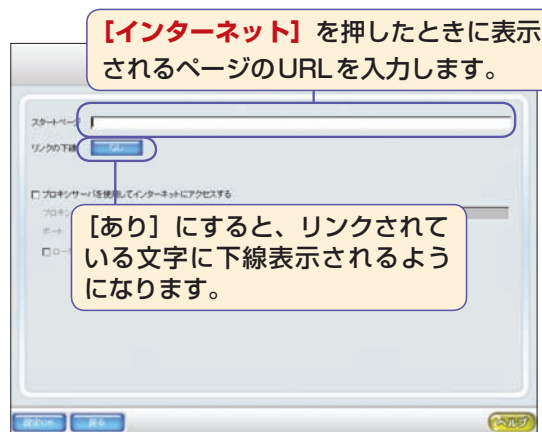
4 入力できたら、[GO] にタッチ

ページが表示されます。

情報取得中は が表示されます。

●以前に見たページをもう一度見るには

●よく見るページの「ブックマーク」への登録と「ブックマーク」からのページ表示

「ブックマーク」への登録方法

「ブックマーク」からのページ表示方法

スタートページの変更

ホーム画面より **[設定]** → **[インターネット]** でスタートページ（ブラウザ画面の **[ホーム]** で表示されるページ）を変更できます。また、リンクされている文字に下線を表示するようにも設定できます。

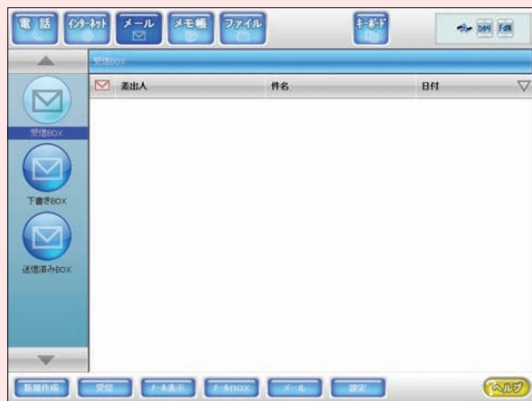
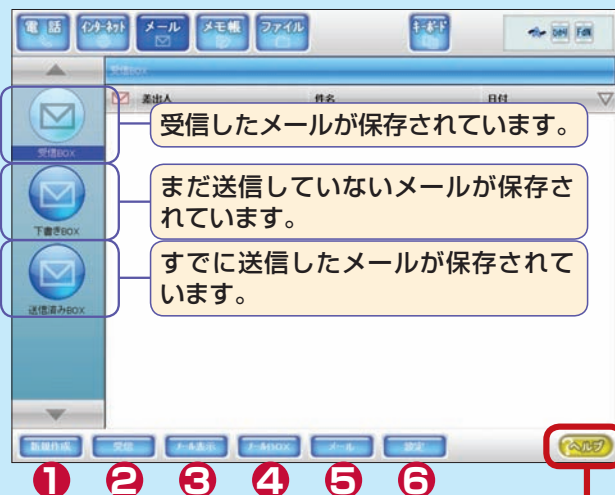
第4章 インターネットを使ってみましょう

第5章 メールを使ってみましょう

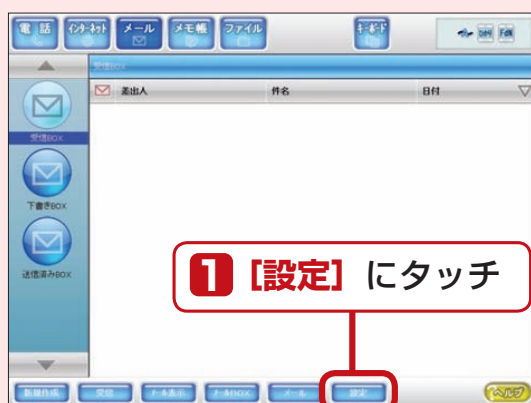
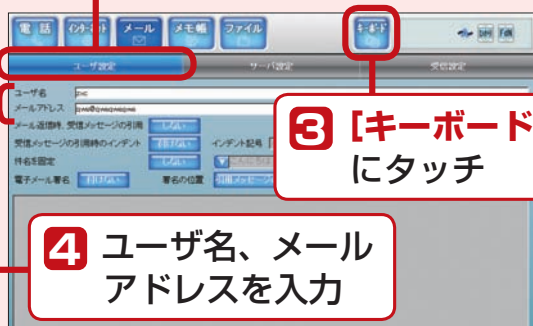
この章ではプロバイダのインターネット接続サービスを利用している場合のメールの送受信について説明します。

メールの利用

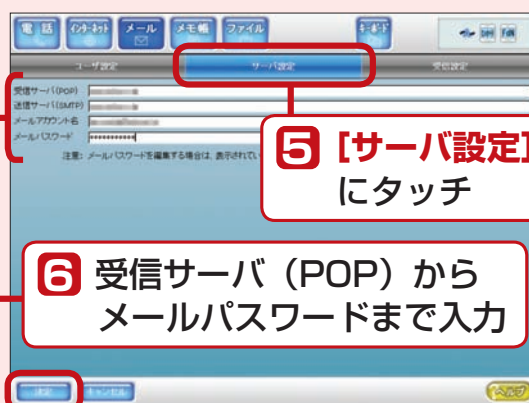
プロバイダと契約すると、インターネットを通じて本商品どうしはもちろん、携帯電話やパソコンとのメール送受信ができるようになります。

●メールを始めるには

ホーム画面より **[メール]** にタッチするとメールの画面（受信 BOX）が表示されます。

●メール画面の構成

❶	新規作成	新しいメールを書く画面が開きます。
❷	受信	メールを受信します。
❸	メール表示	メールを表示します。
❹	メールBOX	メールを分類したいときに使用します。
❺	メール	メールの削除や転送を行います。
❻	設定	メールを送受信するためのサーバ設定などを行います。

●まずは事前設定をしましょう
（プロバイダの契約書類をご用意ください）

2 ［ユーザ設定］にタッチ

ユーザ名：差出人の名前を入力します。

メールアドレス：自分のメールアドレスを半角で入力します。

参照 「キーボードを使ってみましょう」（54ページ）

7 ［決定］にタッチで設定完了！

サーバ設定はプロバイダの契約書類にしたがって入力してください。

受信サーバ（POP）：
受信サーバ名を入力（255文字まで）。
メールを受信するためのサーバで、送信サーバと兼用の場合もあります。メールサーバ、POPサーバと呼ばれることもあります。

送信サーバ（SMTP）：
送信サーバ名を入力（255文字まで）。
メールを送信するためのサーバで、受信サーバと兼用の場合もあります。メールサーバ、SMTPサーバと呼ばれることもあります。

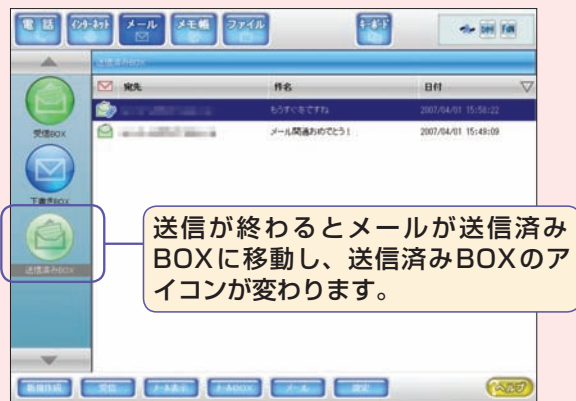
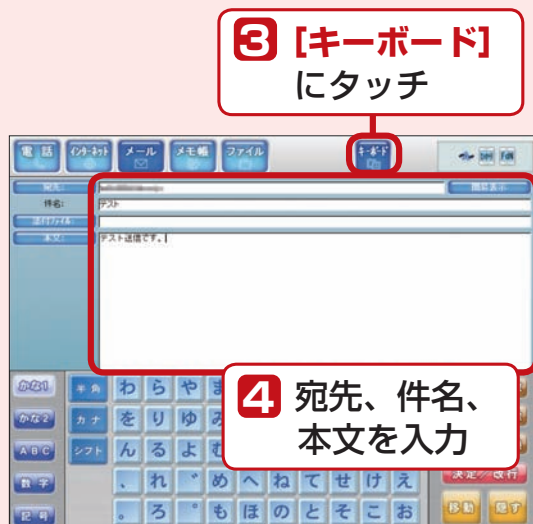
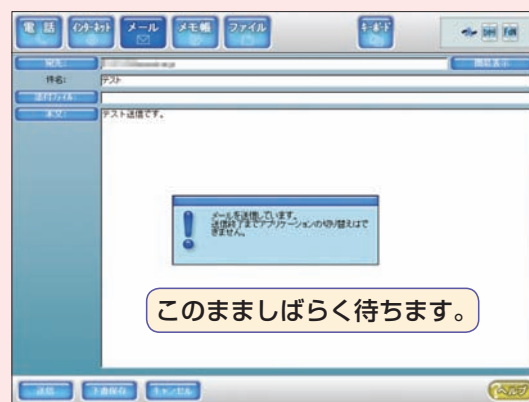
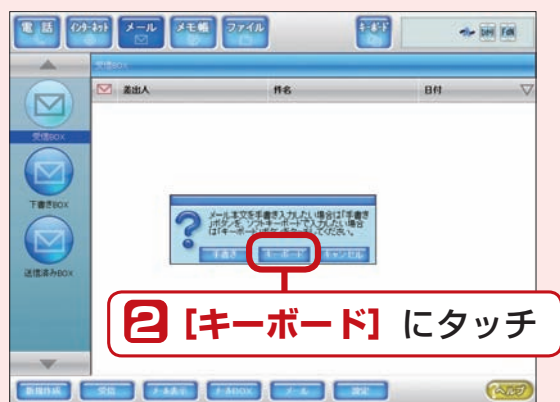
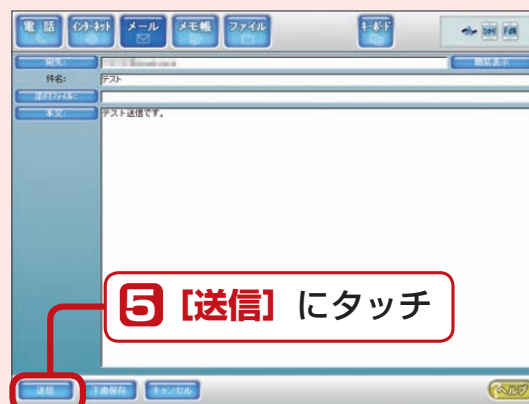
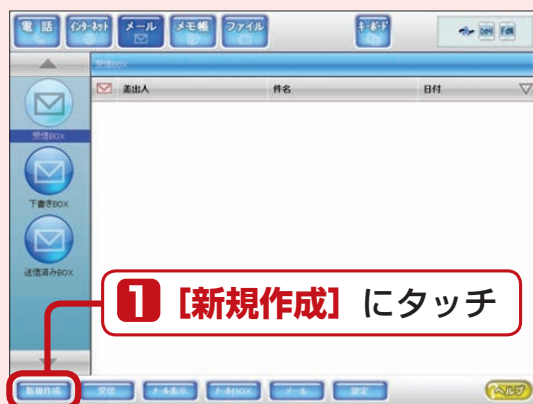
メールアカウント名:
メールアカウント名を入力（64文字まで）。
ユーザ名、ID、お客さまメールアカウントなどと表記されていることもあります。

メールパスワード:
メールパスワードを入力（64文字まで）。
なお、入力した文字は「*」で表示されます。決定後再表示した際は「*」が8個表示されます。修正する場合は、「*」をすべて削除してから行ってください。

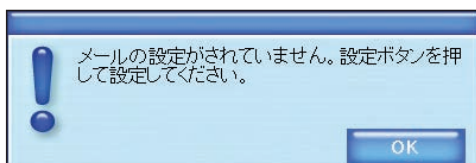
［受信設定］は、通常変更せずに使用します。
なお、自動受信確認の設定は、ホーム画面より［設定］→［環境］から行います（51ページ）。

メールの送受信

メールの送受信にチャレンジしましょう。最初は自分あてに送って、送信と受信の確認をするのが簡単＆安全です。

●メールを送信してみましょう（キーボード入力）

参照 「キーボードを使ってみましょう」（54ページ）

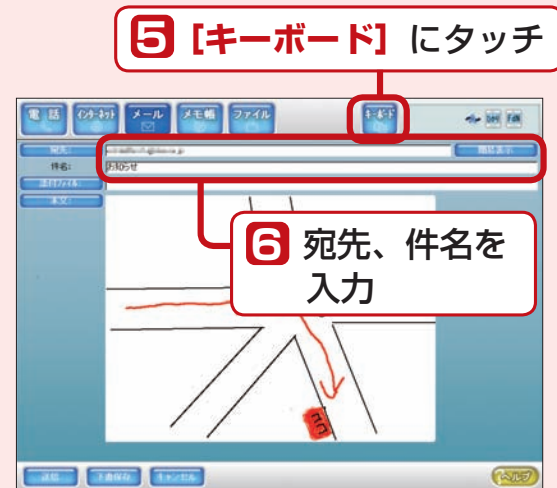
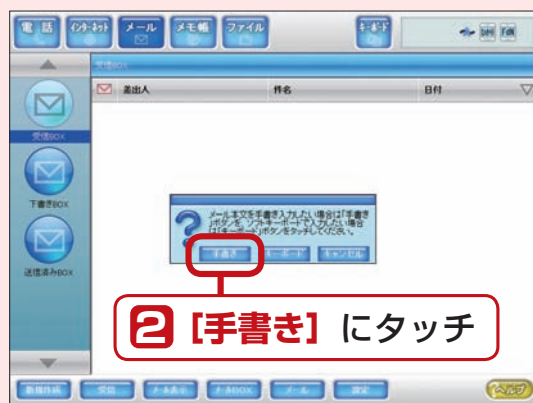
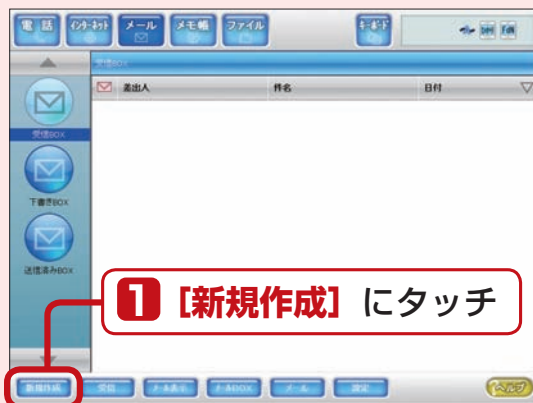
メールサーバのサーバ設定について

メールサーバのサーバ設定が済んでいないと送信できません（設定方法は43ページ参照）。送信できなかったメールは、下書きBOXに保存されます。

メール一覧画面のアイコン

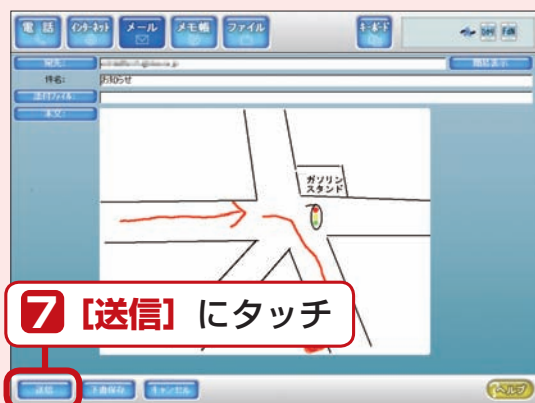
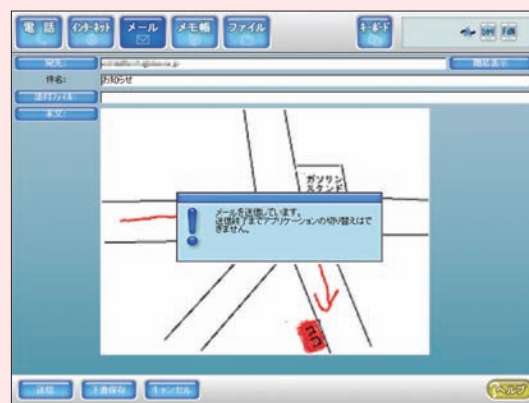
	未読メール・添付ファイルあり
	既読メール・添付ファイルあり
	下書きメール・添付ファイルあり
	送信エラーメール・添付ファイルあり
	手書き未読メール・添付ファイルあり
	手書き既読メール・添付ファイルあり
	手書き下書きメール・添付ファイルあり
	手書き送信エラーメール・添付ファイルあり

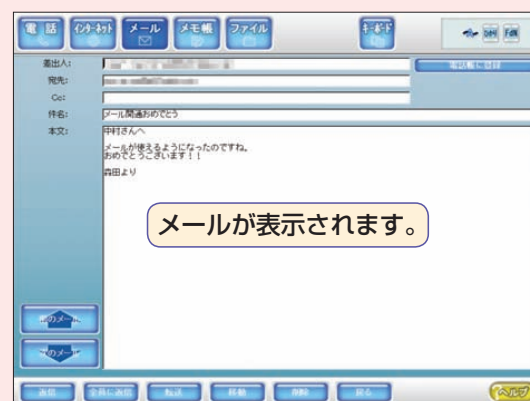
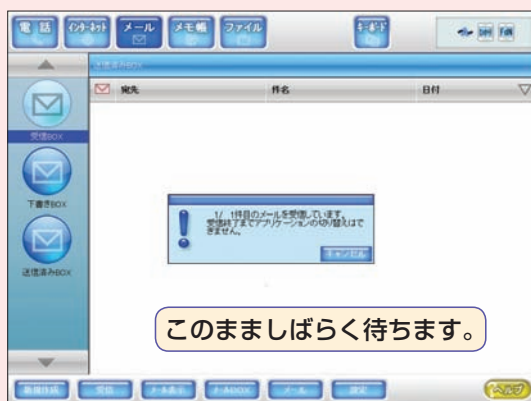
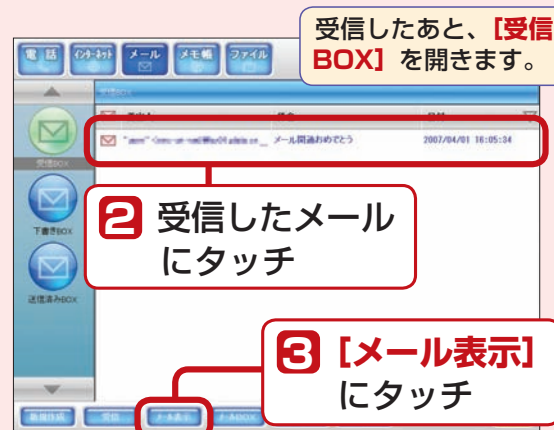
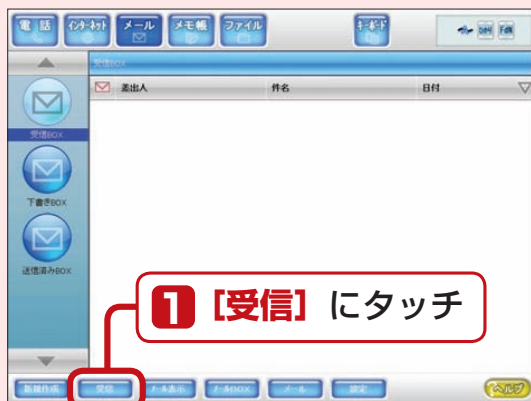
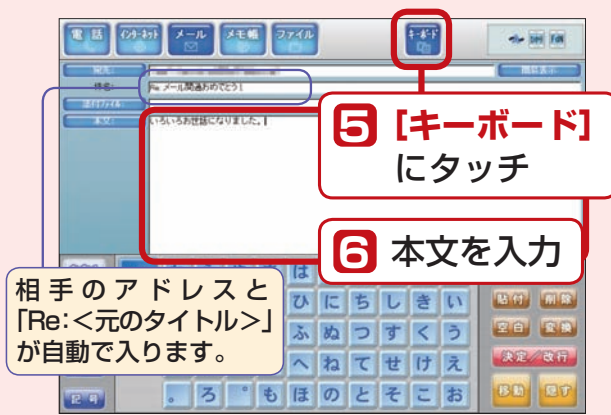
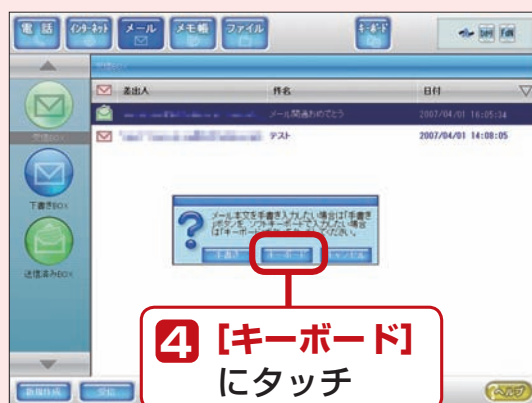
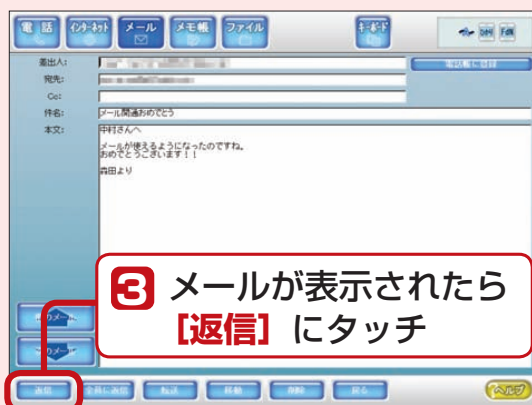
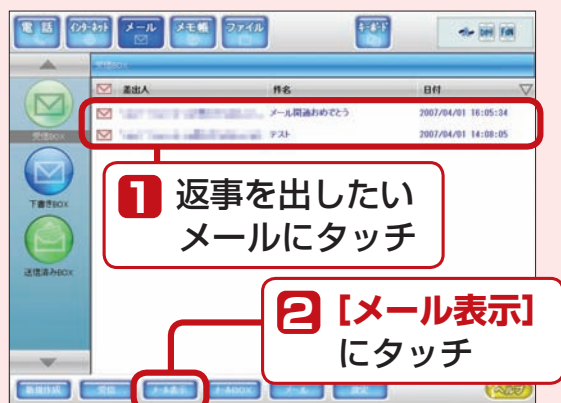
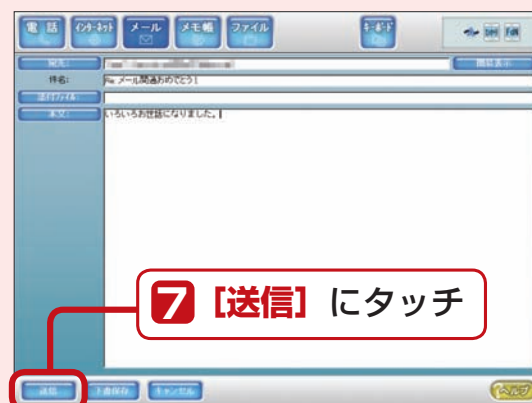
●メールを送信してみましょう（手書き入力）

文字や図形の作成をキャンセルする場合には、［決定］にタッチしてメール作成画面で［キャンセル］にタッチしてください。

［読み込み］にタッチすると作成済みの画像を表示することができます。

メール作成画面では、作成した図形を修正することはできません。［本文］にタッチすると手書きでメール本文作成中画面が表示され文字や図形を変更することができます。

第5章 メールを使ってみましょう

送信先の機器により、送信する画像のサイズを変更できます。
メールをフレッツフォンやパソコンに送信する場合は**［フレッツフォン］**にタッチしてください。大きいサイズ（VGA ： 640×480）の画像を送信します。
携帯電話にメールを送信する場合には、**［携帯電話］**にタッチしてください。画像を小さなサイズ（QVGA ： 320×240）に縮小して送信します。

送信した手書きメールの件名の先頭には自動的に【手書き】が追加されます。

●メールを受信してみましょう

●受信したメールに返事を送りましょう

参照 「キーボードを使ってみましょう」（54ページ）

受信したメールを引用した返信は、キーボード入力の受信メールはキーボード入力で、手書き入力の受信メールは手書き入力でのみ、引用できます。

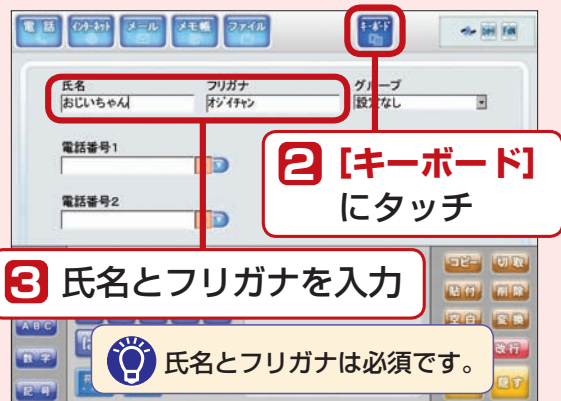
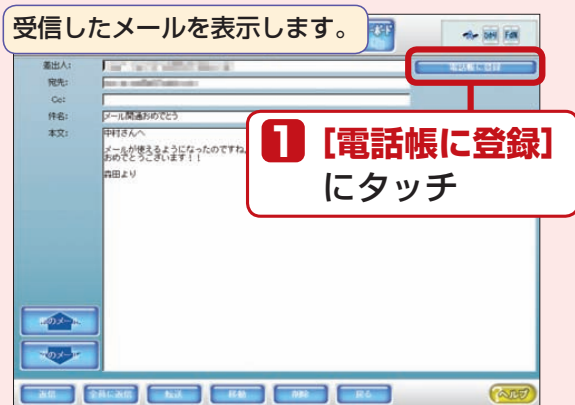
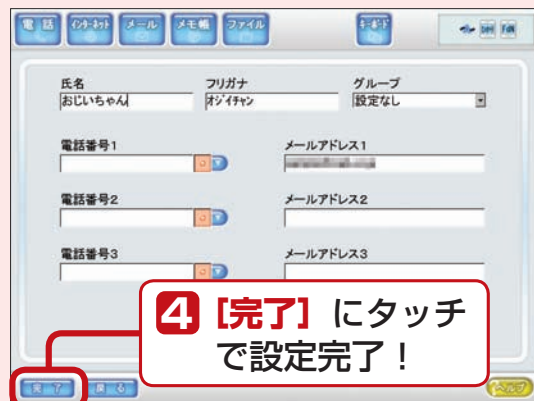
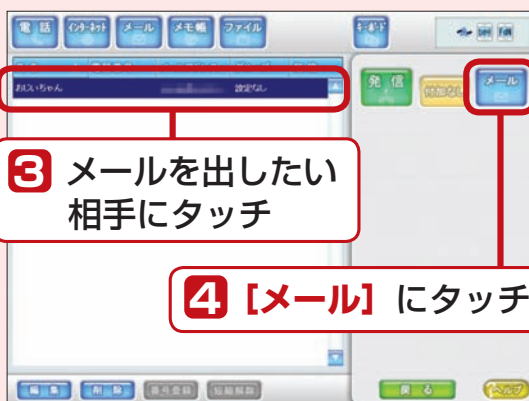
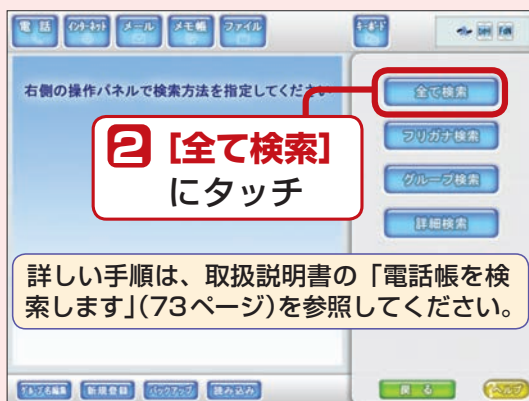
メールの転送は、キーボード入力の受信メールはキーボード入力、手書き入力の受信メールは手書き入力のメールでのみ転送できます。

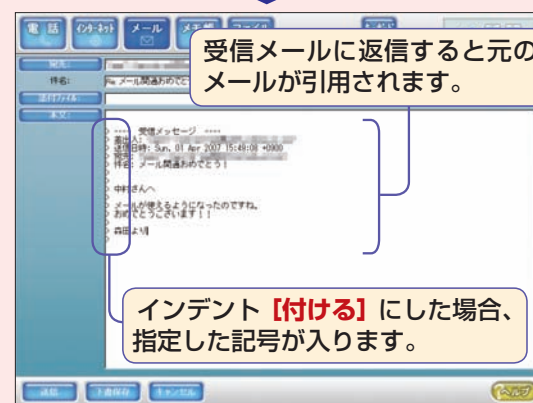
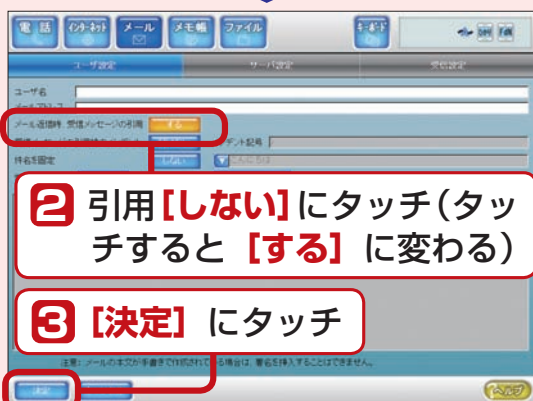
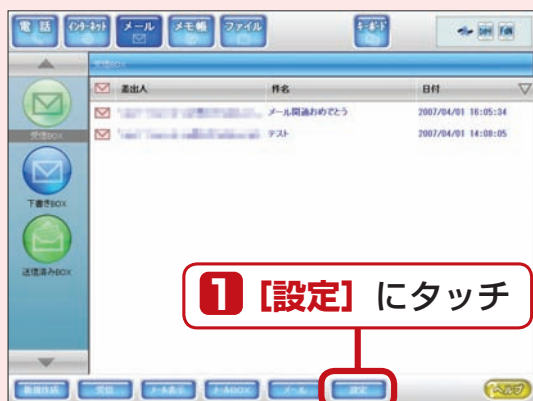
手書き入力のメールを引用した返信または転送をする場合、［手書きでメール本文を作成中］画面に表示される画像は、受信したときのサイズになります。また送信時は、携帯電話用サイズ（QVGA）をフレッツフォンサイズ（VGA）に変更することはできません。

もっと便利にメールを活用

電話帳や"引用"を使うと、メールがますます使いやすくなります。

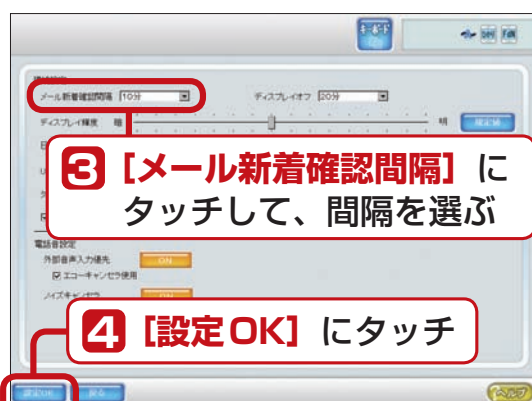
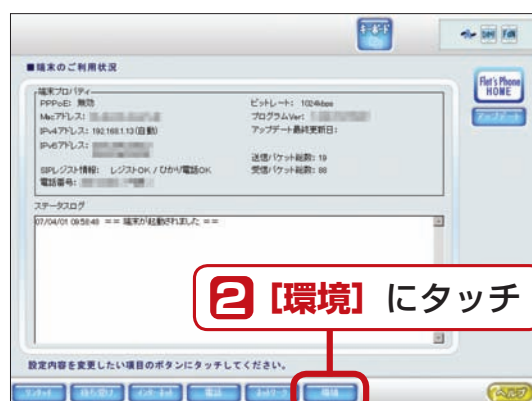
●メールアドレスを電話帳に登録し、電話帳からメールを作成しましょう

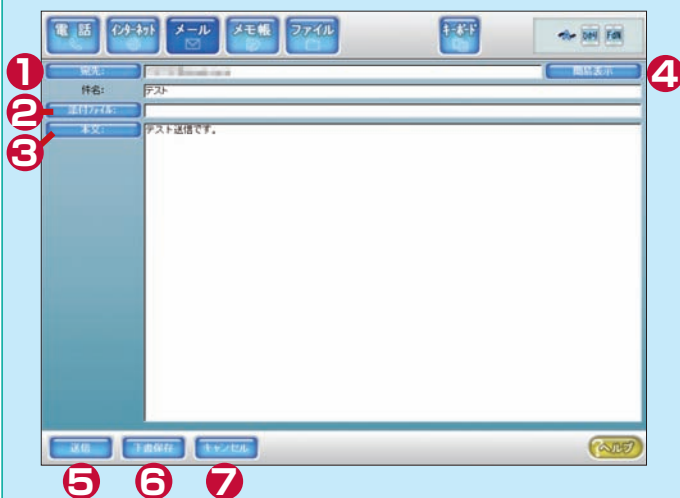
電話帳への登録方法

参照 「キーボードを使ってみましょう」(54ページ)

電話帳を利用したメールの作成方法

メール作成画面が開きます。

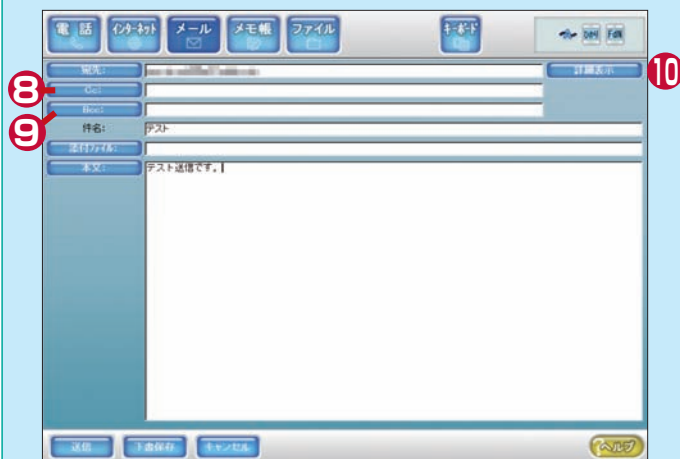
●返事を書くときに元の内容を引用するには

引用に関するマナーや注意点

受信したメールに引用設定をすると、返信メールの本文に、元のメール本文が「引用」として残ります。何の話題に対する返信か明確になるため、ビジネスなど正確なやり取りが求められる場面で歓迎される場合もありますが、メールの文章が長くなり携帯電話利用者がメール全体を一度に受け取れず困ったり、念押しされているような不快感を与えるなど、歓迎されない場合もあります。状況に応じて使い分けましょう。

自動受信確認の設定

本商品はメール新着確認間隔で設定した間隔で、受信メールがあるか、自動で確認します。受信メールがあると、画面右上のステータスウィンドウのマークと本商品の電源／ステータスランプが点滅して、メールの到着をお知らせします

●メールを作成しているときの機能一覧

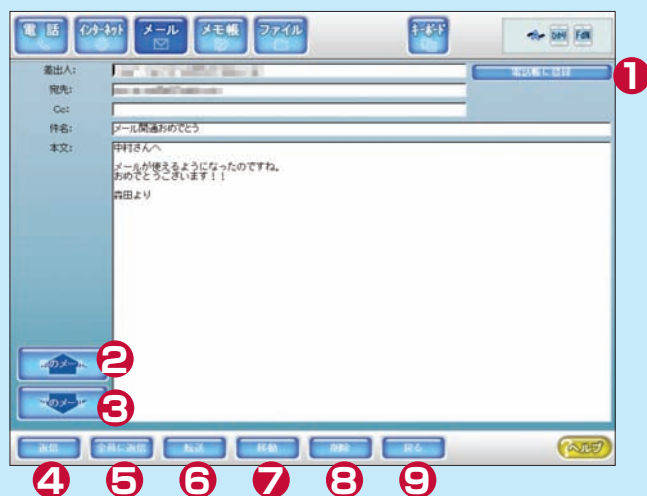
簡易表示のときの画面

詳細表示のときの画面

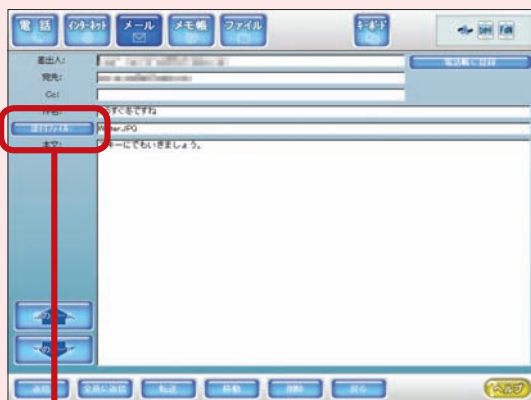
❶	宛先:	電話帳に登録されているメールアドレスを選択する画面が開きます。
❷	添付ファイル:	メールと一緒に送る写真やデータなどを選択する画面が開きます。
❸	本文:	本文を編集する画面になります。
❹	簡易表示	詳細表示に切り替わります。
❺	送信	メールを送信します。
❻	下書保存	メールを送信せず、下書きBOXに保管します。
❼	キャンセル	メールを破棄して、メールBOXの画面に戻ります。

❽	Cc:	電話帳に登録されているメールアドレスを選んで入力できる画面になります。
❾	Bcc:	
❿	詳細表示	簡易表示の画面に戻ります。

Cc、Bccとは

[Cc]［Bcc］ともに、[宛先］に指定した人以外で参考としてメールを同報したい人を指定しますが、［Cc］と［Bcc］ではメールアドレスの公開範囲が違ってきます。
[宛先］と［Cc］に指定した人のメールアドレスは、[宛先］［Cc］［Bcc］で指定したすべての人に公開されますが、[Bcc] に指定した人のメールアドレスは、[宛先] と [Cc] および [Bcc] で指定した人には公開されません。

●受信メールを確認しているときの機能一覧

受信メールを表示しているときの画面

❶	電話帳に登録	差出人を電話帳に登録できます。
❷	前のメール	1つ前のメールを表示します。
❸	次のメール	次のメールを表示します。
❹	返信	メールに返信を書く画面になります。
❺	全員に返信	差出人、宛先およびCcの人全員宛の返信を書きます。
❻	転送	メールを転送します。
❼	移動	メールを別のBOXに移します。
❽	削除	メールを削除します。
❾	戻る	メールBOXの画面に戻ります。

●添付ファイルが届いたら

メールと一緒に写真などが送られてきた場合、添付ファイル: に添付されているファイルの名前が表示されます。

添付ファイル: にタッチすると、一緒に送られてきた添付ファイル一覧の画面が開きます。ここでファイルを表示したり、外部メモリに保存したりできます。

MEMO

添付ファイルとは?

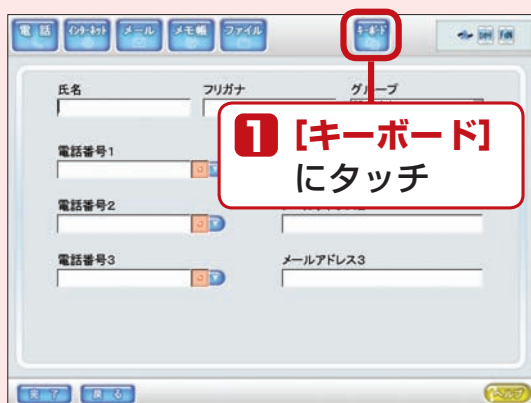
メール本文に同封する画像（写真やイラスト）や音声などのファイルです。
相手からのメールに同封された本文以外のファイルも、同様に添付ファイルといいます。ただし、見知らぬ相手からのメールに添付されたファイルは本商品に有害な場合があるため、不用意に開かないようにしましょう。

第6章 キーボードを使ってみましょう

キーボードの使いかたはこの章をご覧ください。

キーボードについて

●文字を入力するには

電話帳やメールなどで文字を入力したいときは [キーボード] を使います。

キーボードを切り替えます（55ページ）。

●文字編集の基本操作

[コピー] [切取] [貼付]
選択した範囲のコピー、切り取り、貼り付けを行います。

[削除]
選択した範囲、またはカーソルの左側の文字を削除します。

[空白]
空白（スペース）を入力します。

[変換] [決定／改行]
文字の変換・決定をします（56 ページ参照）。

例：「こんにちは岡田さん」を「岡田さんこんにちは」に修正する場合

1 「こんにちは」をドラッグ（7ページ参照）で選択

こんにちは岡田さん

2 **[切取]** にタッチしてカーソルを移動

岡田さん|

[コピー] では「こんにちは」がそのまま残ります。

3 **[貼付]** にタッチ

岡田さんこんにちは|

2で切り取った文字が貼り付けられます。

キーボードは上下に移動できます

第6章 キーボードを使ってみましょう

●キーボード早見表

キーボードの具体的な使いかたは次ページへ

キー入力の練習

●名前の入力をしてみましょう（例：岡田京子）

（ここでは［電話帳］の画面を使用しています）

1 入力したい場所にタッチ

2 **［キーボード］**にタッチ

3 **［かな１］**にタッチ

1と2はどちらが先でもOK!

氏名 おかだ — お か た ゛

氏名 岡田 — 変換

お望みの字だったら

氏名 岡田 — 決定／改行

氏名 岡田き — き

［シフト］をタッチした状態

氏名 岡田きょうこ — シフト ょ う こ

シフト はキーボードを一時的に切り替えます。１文字入力すると元のキーボードに戻ります。

氏名 岡田強固 — 変換

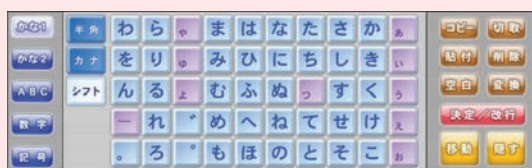
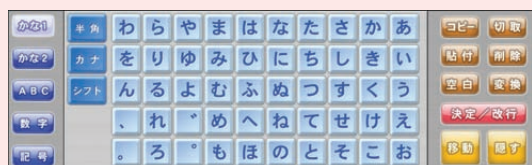
氏名 岡田京子 — 変換

1 強固
2 京子
3 今日子
4 恭子
5 享子
2/8

候補が出るのでお望みの字にタッチします。

氏名 岡田京子

氏名 岡田京子 — 決定／改行

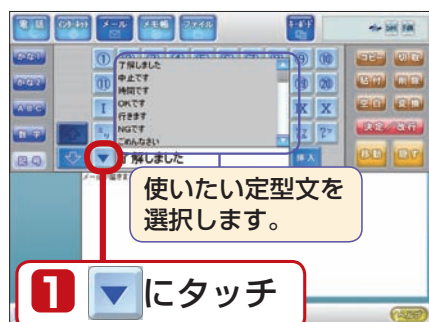
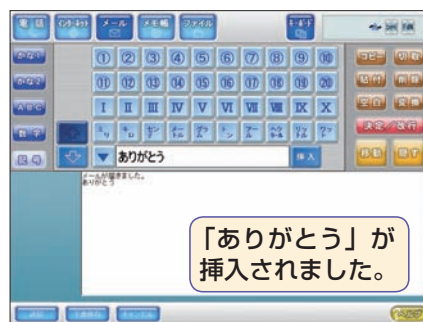
第6章 キーボードを使ってみましょう

●文章を入力してみましょう（例：メールが届きました。ありがとう！）

メールが届きました。
ありがとう

キーボードを切り替える前には［決定／改行］

よく使われる記号は、［数字］をタッチしたときに表示される画面から入力できます。

定型文や顔文字を入力するには

よく使われるフレーズや顔文字は、［記号］画面の［▼］で選択して入力できます。
（例：「ありがとう」と入力する場合）

入力が終わったら［隠す］でキーボードを画面から消してください。

●メールアドレスを入力してみましょう
（例：flets_1@example.or.jp）
ABC → 小文字 で小文字入力用のキーボードに切り替え
メールアドレス1
flets
f l e t s
数字
メールアドレス1
flets_1
_ 1
ABC
_（アンダーバー）は 数字 のキーボードで入力できます。
メールアドレス1
flets_1@example.or.jp
@ e x a m p l
e . o r . j p

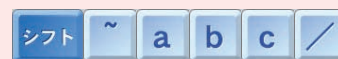
●URLを入力してみましょう（例：http://example.com/~abc/）

ＡＢＣ → 小文字 で小文字入力用のキーボードに切り替え

http://example.com/

h t t p : ／ ／ e x a m p l e . c o m ／

~（チルダ）はシフトで入力

http://example.com/~abc/

シフト ~ a b c ／

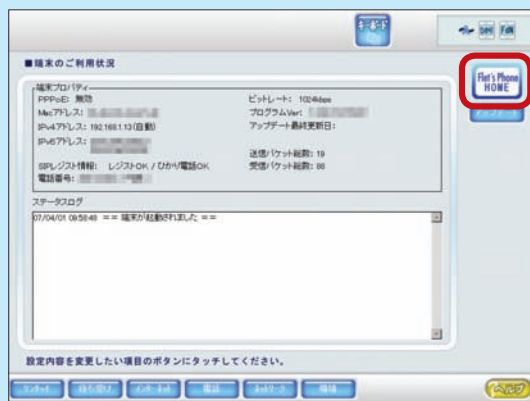
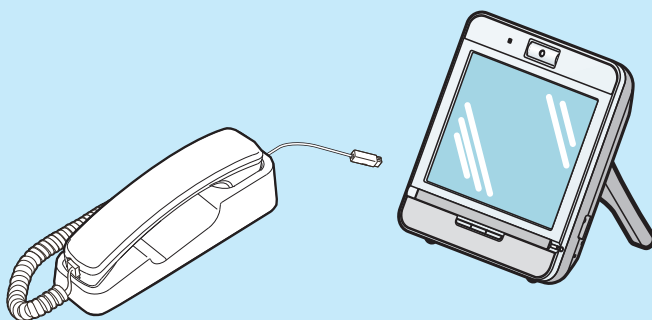
シフト はキーボードを一時的に切り替えます。１文字入力すると元のキーボードに戻ります。

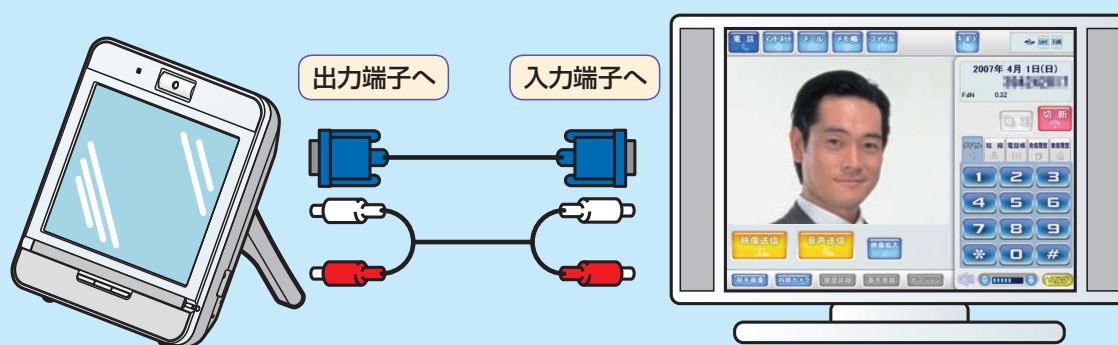
第7章 フレッツフォンVP2000をさらに活用してみましょう

ここまでは本商品の機能のうち、基本の操作を説明してきました。この章では、本商品をさらに活用するための楽しい事例をご紹介します。

いろいろな活用ができます

●「Flet's Phone HOME」にアクセスする

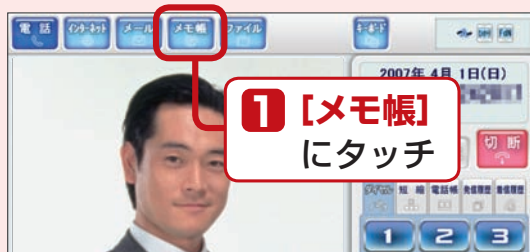
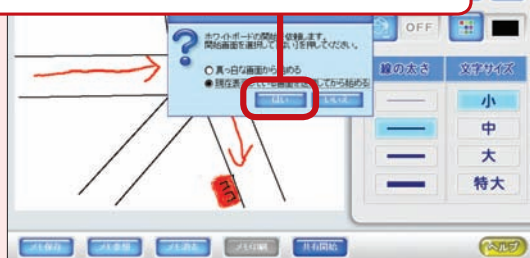
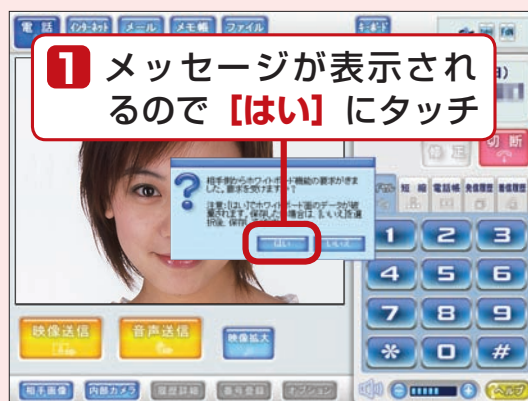
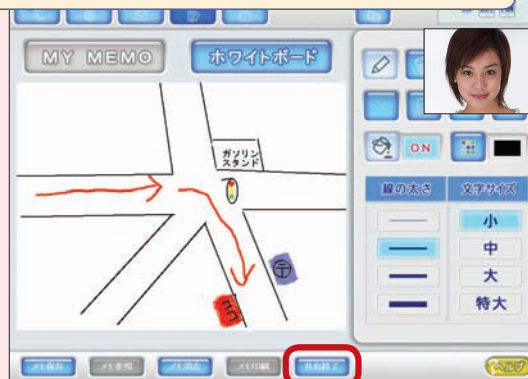
本商品からアクセスできる「Flet's Phone HOME」には、本商品の詳しい使いかたや、周辺機器の最新情報などが掲載されています。「Flet's Phone HOME」にはホーム画面より**[設定]**にタッチし Flet's Phone HOME にタッチすることでアクセスできます。

●ハンドセットをつないで通常の電話機のように使う

オプションのハンドセットをご購入いただき、本商品側面の「ハンドセット接続ポート」につなぐと、通常の電話機と同じように受話器を使って通話できるようになります。もちろん、ハンドセットを接続中でもハンドフリーによる通話が可能です。

●通話中の画面を自宅のテレビで見る

本商品をテレビに接続すると、本商品の画面をテレビに映すことができます。

＊テレビによっては、本商品と同じ画面が表示されない場合があります。

●通話中の相手と"メモ"を共有する（ホワイトボード機能）

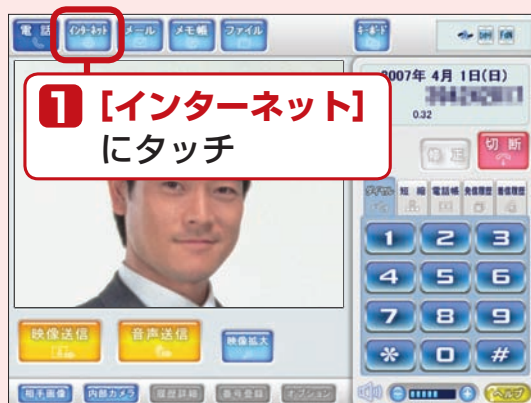
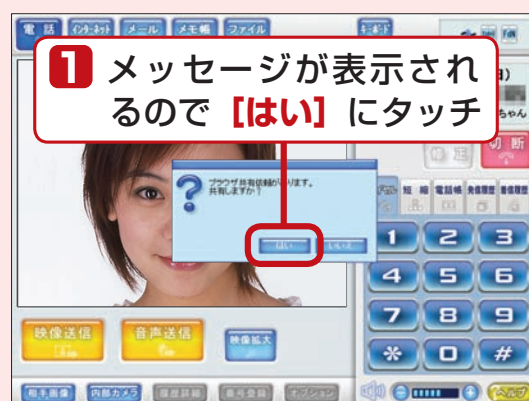
通話中に［メモ帳］にタッチすると、通話しながら、文字やイラストを相手と共有することができます。たとえば、会話しながら待ち合わせ場所の地図を描いて送ったり、言葉だけでは伝わりにくい説明を図に描いて送ったりできるので、コミュニケーションをとりやすくなります。ただし、ひかり電話をご利用のお客さまは、本機能はご利用できません。

メモを送る側

メモを受ける側

2 共有を終了するときには、［共有終了］にタッチ

共有を終了しても通話は切断されません。

●通話中にWebを見て、同じWeb画面を相手に見せる

通話中にブラウザ画面の［共有］にタッチすると、共有したいWeb画面を相手の画面操作により共有することができます。ただし、ひかり電話をご利用のお客さまは、本機能はご利用できません。

Web 画面を見せる側

Web 画面を見る側

Webページによっては、見せる側と同じ内容で表示されないことがあります。

●Flet's Phone HOMEから着信音をダウンロードして、オリジナルの着信音にする

Flet's Phone HOMEにはオリジナルの着信音が公開されています。この着信音をダウンロードして、本商品の着信音に設定することができます。

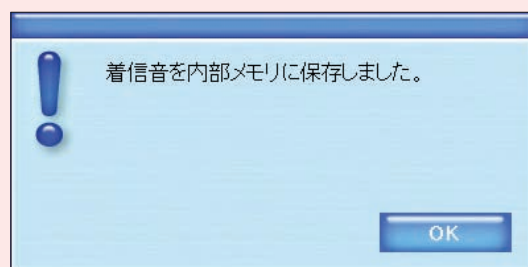
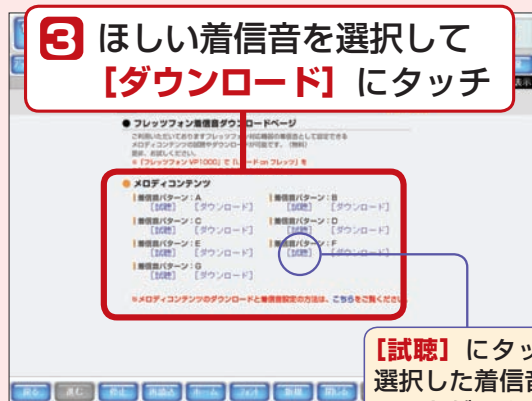
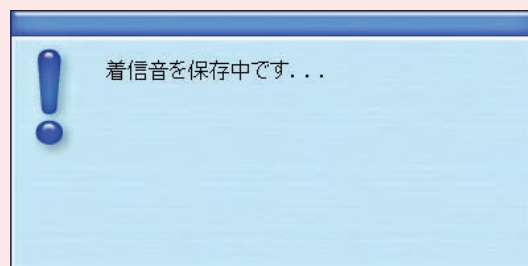
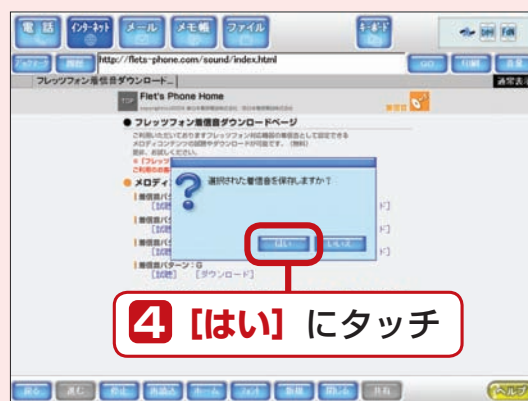
着信音のダウンロード

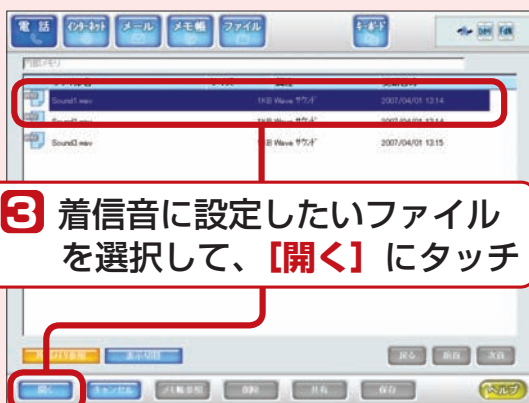
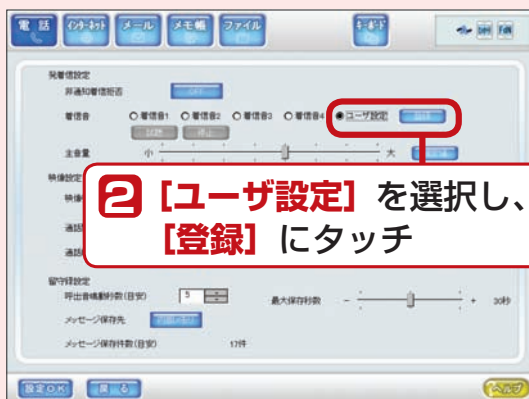
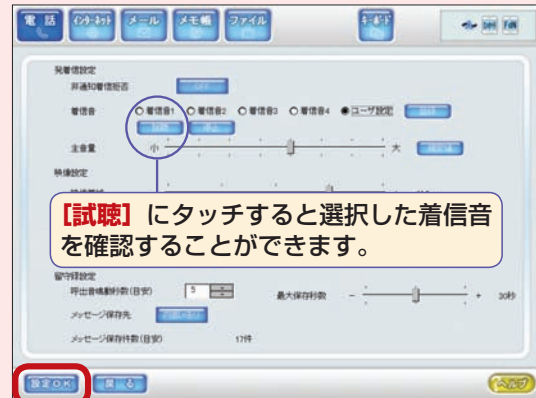
着信音を保存中です．．．

着信音の設定

1 **［オプション］**にタッチ

2 **［ユーザ設定］**を選択し、**［登録］**にタッチ

3 着信音に設定したいファイルを選択して、**［開く］**にタッチ

［試聴］にタッチすると選択した着信音を確認することができます。

4 **［設定OK］**にタッチ

●外部カメラで撮影しながら通話中の相手に見せる

ビデオカメラやデジタルカメラなどの機器をつないで、機器と同じ映像を通話相手にも見せることができます。ベランダや庭、窓の外といった、本商品ではカバーできない広い範囲や、動き回るペットのように本商品で映しにくい対象を、通話相手に見せたいときに便利です。

＊デジタルカメラの機種によっては、本商品につなげられない場合があります。

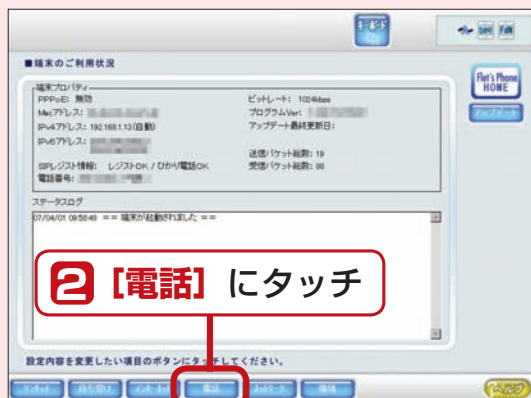
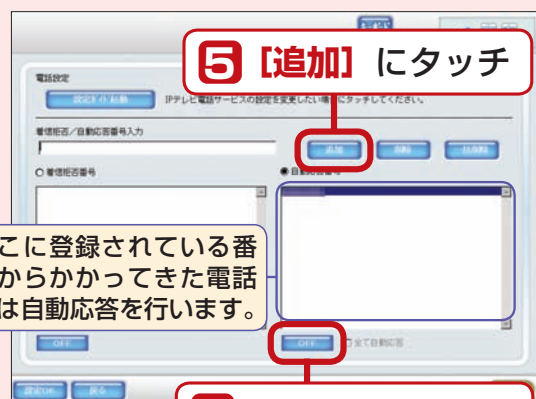
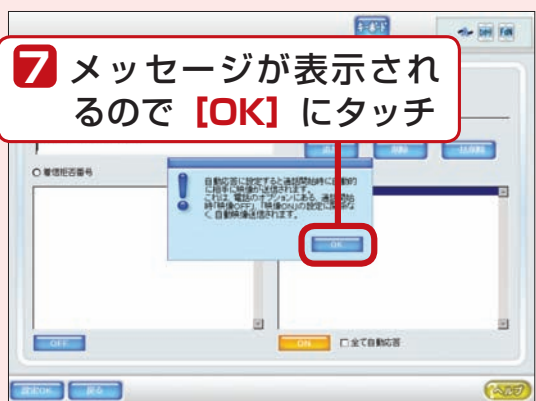
●撮影した映像や画像を通話中の相手に見せる

ビデオカメラやデジタルカメラなどで撮影した映像や画像を、通話相手にも見せることもできます。さらに、音声入力端子にカメラの音声出力ケーブルをつなぐことで、音声付きの録画映像も送れます。

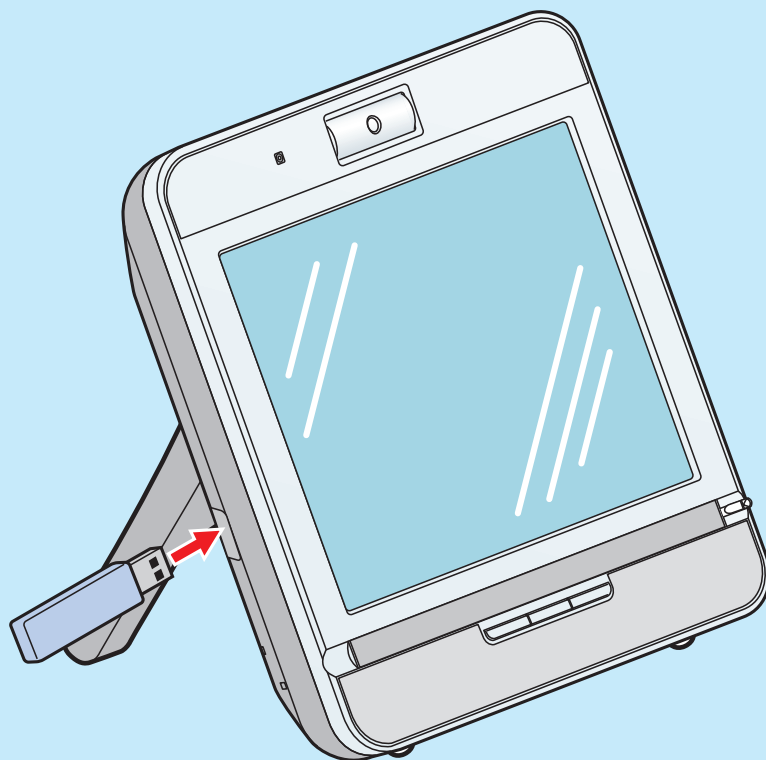
＊接続機器によっては、本商品につなげられない場合があります。

●外出先から自宅の様子を見る

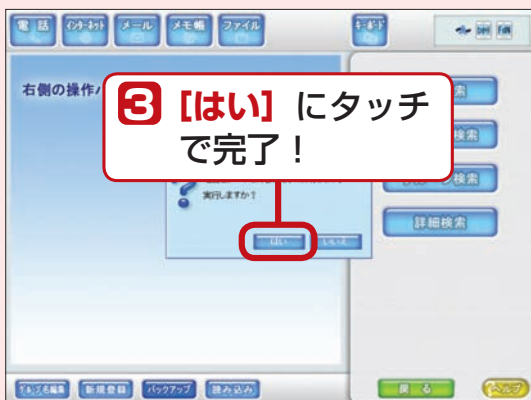
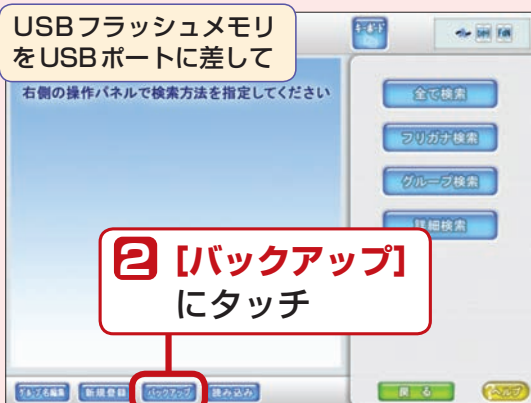
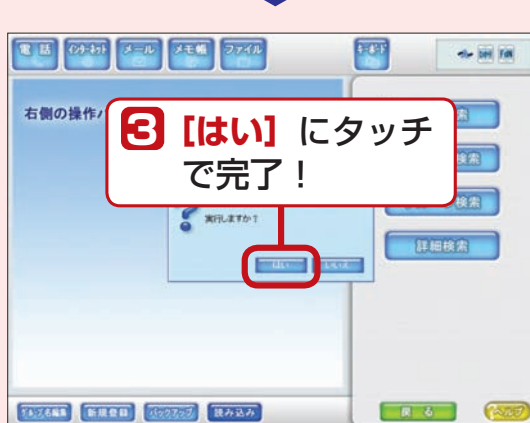
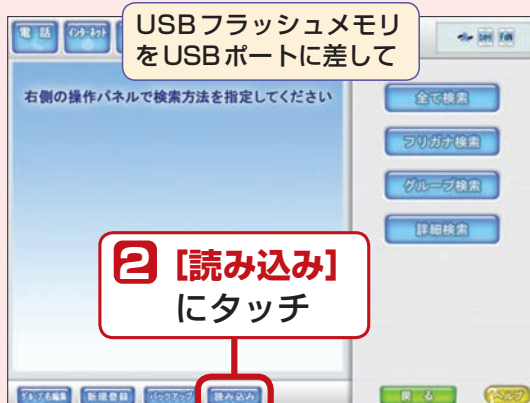
本商品の自動応答機能を利用すると、あらかじめ登録しておいた番号から電話がかかってきたとき、［応答］にタッチしなくても自動的に通話状態になります。この機能を利用すると、外出先から留守中の自宅の様子を見ることができます。

自動応答の設定は、［設定］にある［電話］の画面で行います。

電話帳データをバックアップしましょう

電話帳のデータ破損など予期せぬトラブルを防ぐためにデータをバックアップしましよう。

●本体側面のUSBポートにUSBフラッシュメモリを接続

本商品対応のUSBフラッシュメモリを接続します。

※対応するUSBフラッシュメモリについては、
Flet's Phone HOMEをご覧ください。

●電話帳データのバックアップ

●バックアップしたデータを読み込む

第8章 困ったときには

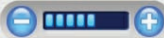
本商品をお使いの際、困ったときのQ&Aをまとめてあります。
詳しくは、取扱説明書の「故障かなと思ったら」をご参照ください。

Q&A

Q.1 液晶ディスプレイ（タッチパネル）に何も表示されません。

●本体下部の電源ランプが点灯していれば、ディスプレイオフに切り替わっていて、画面のみ消えている状態です。画面にタッチすると、表示されるようになります。
●本商品や各機器が正しくつながれているかをご確認ください。
●本商品のACアダプタのコードおよび電源コードが破損していないかをご確認ください。破損している場合は、すぐにACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
●電源を再度入れるときは30秒以上経ってから入れてください。電源を切ったあとすぐに電源を再度入れると、本商品が起動しない場合があります。
●電源コードを抜いて30秒以上経ってからあらためて差し込んでください。

Q.2 カメラ映像が、モザイクがかかったように乱れてしまいます。

回線速度と映像帯域が合っていない可能性があります。電話画面で**［オプション］**にタッチし、切り替わった画面で、映像設定の項目にある**［映像帯域］**を適切な値に変更します。

Q.3 スピーカから何も聞こえません。

電話画面の（音量バー）にタッチし、聞き取りやすい受話音量に調整してください。

Q.4 こちらの声が、相手側で聞こえにくいようですが。

●マイク部分が、物でさえぎられていませんか？マイクをふさいだり、マイクの近くに物を置いたりしないでください。
●音声入力端子にケーブルが接続されていませんか？ケーブルが接続されると音声入力が外部に切り替わります。

Q.5 相手側の声がこちらに聞こえません。相手側の声がこちらに聞こえにくいのですが。

●電話画面の（音量バー）にタッチし、聞き取りやすい受話音量に調整してください。
●回線品質の一時的な低下の可能性があります。いったん電話を切り、しばらくしてからおかけ直しください。
●スピーカが何かでふさがれていませんか？
●相手側が音声を保留している可能性があります。

Q.6 声が反響します。通話中に「ザーザー」とノイズが入ります。通話中に音がプツプツと切れます。

回線品質の一時的な低下の可能性があります。いったん電話を切り、しばらくしてからおかけ直しください。

Q.7 相手側の声が大きすぎます。

電話画面の［音量バー］にタッチして、聞き取りやすい受話音量に調整してください。

Q.8 携帯電話・PHS ・加入電話につながりません。

●NTT東日本のFLET'S.Netナンバーをご利用の場合、これらの番号へはつながりません。加入電話からおかけください。
●プロバイダのIPテレビ電話サービスをご利用の場合、携帯電話・PHSへつながるかどうかは、プロバイダによって異なります。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。
●ひかり電話をご利用の場合、携帯電話・PHSへつながります。通話相手がFOMA®携帯電話の場合、テレビ電話が可能です。

Q.9 緊急通報番号（110番、119番、118番）につながりません。

●ひかり電話をご利用の場合、緊急通報番号につながります。
●ひかり電話以外のIP電話サービスをご利用の場合、これらの番号へはつながりません。加入電話からおかけください。

Q.10 市外局番以外の0XY0番号につながりません。

●ひかり電話をご利用の場合、接続できない番号があります。加入電話からおかけください。詳しくは、http://flets.com/hikaridenwa/index.htmlでご確認ください。
●ひかり電話以外のIP電話サービスをご利用の場合、これらの番号へはつながりません。加入電話からおかけください。

Q.11 携帯電話・PHS ・加入電話からの電話を受けられません。

●NTT東日本のFLET'S.Netナンバーをご利用の場合、これらの番号からはつながりません。加入電話へかけていただくようご案内ください。
●プロバイダによるIPテレビ電話サービスをご利用の場合、携帯電話・PHSからつながるかどうかは、プロバイダによって異なります。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。
●ひかり電話をご利用の場合、携帯電話・PHSからの着信を受けることができます。通話相手がFOMA®携帯電話の場合、テレビ電話が可能です。

Q.12 着信履歴／発信履歴／短縮ダイヤルの設定が消えてしまいました。

「端末初期化」を実行すると、お買い上げ時の状態になり、個人データはすべて消去されます。

Q.13 電話画面の［オプション］→［ユーザ設定］で着信音を変更したら、着信時に音が鳴らなくなってしまいました。

音声ファイルであっても本商品に対応していない特殊なものがあります。音を決定する前に［試聴］にタッチし、音が鳴るかを確認してください。

Q.14 ディスプレイがなんとなく暗いのですが。

画面の明るさを調整してください。ホーム画面で［設定］→［環境］とタッチし、続いて［ディスプレイ輝度］でお好みの明るさに調整します。
なお、電源投入直後はディスプレイが暗く感じることがあります。調整をする場合は電源投入から数分経ってから行ってください。

Q.15 ホームページが正しく表示されません。

本商品のブラウザとパソコンのブラウザは、機能が異なります。したがって、本商品の表示画面は、パソコンとは違う場合があります。また、ホームページによっては本商品では正しく表示されないことがあります。

Q.16 インターネット上のファイルをダウンロードできないのですが。

本商品ではインターネットでのファイルのダウンロードやアップロードはできません。

Q.17 本商品の動作が遅いのですが。

ブラウザ画面でホームページを複数開いていると、動作が遅くなることがあります。見終わったページは閉じてください。

Q.18 本商品の動作が不安定なのですが。

本商品を再起動してください。電源ボタンを押し［再起動］にタッチすると、本商品の電源が自動的に切れ、再び自動的に電源が入ります。

Q.19 エラーメッセージが表示されました。

エラーメッセージについては、取扱説明書をご覧ください。

お問い合わせ窓口

■本商品・機器の接続、設定、お取り扱い方法に関する相談は下記へお気軽にご相談ください。

●NTT東日本エリア（北海道・東北・関東・甲信越地区）でご利用のお客さま
NTT東日本　光サポートセンタ

電話番号：0120-970492（通話料無料）
受付時間：9:00～21:00／年中無休。ただし年末年始（12月29日～1月3日）は休業とさせていただきます。

※携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合は、下記にお問い合わせください。
電話番号：03-5667-7035（通話料がかかります）

■故障した場合は下記へお問い合わせください。

●NTT東日本エリア（北海道・東北・関東・甲信越地区）でご利用のお客さま

電話番号：0120-242751（通話料無料）
受付時間：終日

MEMO

この操作ガイドは、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/

本 2891-2(2008.9)
IPTV4-TEL- ﾄﾘｾﾂ